

(2) 都道府県別による使用した基準点の状況

調査した公共測量事業の実施に際して使用した基準点の使用点数などを都道府県別に集計した(表-78、表-79)。

使用した基準点数について、都道府県別に特段の特徴は見られない。

使用した基準点の区分については、数値的にいくらか特徴的な都道府県も見えるが、これは事業規模や地域的な公共基準点の整備や維持管理等を示しているものと思われる。

表-78 都道府県別 使用基準点別件数

都道府県	使用点数 不明又は 未使用	1点	2～4点	5～9点	10点 以上	計
北海道	75	1	53	23	14	166
青森	17	1	3	0	0	21
岩手	21	0	3	1	4	29
宮城	19	0	11	7	11	48
秋田	16	0	17	10	1	44
山形	18	0	5	6	2	31
福島	46	0	6	4	0	56
茨城	20	0	4	4	3	31
栃木	31	1	9	4	6	51
群馬	19	1	12	7	5	44
埼玉	63	1	19	14	21	118
千葉	52	0	13	9	15	89
東京	37	1	14	10	11	73
神奈川	24	1	7	7	11	50
新潟	53	0	8	4	7	72
富山	20	1	5	4	1	31
石川	23	0	1	3	3	30
福井	7	0	4	0	0	11
山梨	3	0	4	2	2	11
長野	34	1	8	2	1	46
岐阜	32	3	7	1	1	44
静岡	21	3	12	7	1	44
愛知	50	0	9	3	8	70
三重	22	0	4	4	1	31
滋賀	13	1	3	0	1	18
京都	16	0	11	1	0	28
大阪	19	0	4	6	2	31
兵庫	25	0	19	7	9	60
奈良	17	0	13	1	0	31
和歌山	7	0	2	2	1	12
鳥取	12	1	14	1	6	34
島根	13	0	6	5	3	27
岡山	21	1	6	2	1	31
広島	25	3	13	2	2	45
山口	14	0	5	3	0	22
徳島	14	0	10	2	0	26
香川	22	0	2	0	0	24
愛媛	22	0	3	4	2	31
高知	5	2	4	2	1	14
福岡	45	0	15	5	6	71
佐賀	13	0	1	0	3	17
長崎	9	0	12	3	1	25
熊本	8	1	0	1	2	12
大分	15	0	1	3	3	22
宮崎	28	0	14	4	3	49
鹿児島	25	0	11	2	2	40
沖縄	28	0	9	0	1	38
総計	1,139	24	416	192	178	1,949
比率(%)	58.4%	1.2%	21.3%	9.9%	9.1%	100.0%

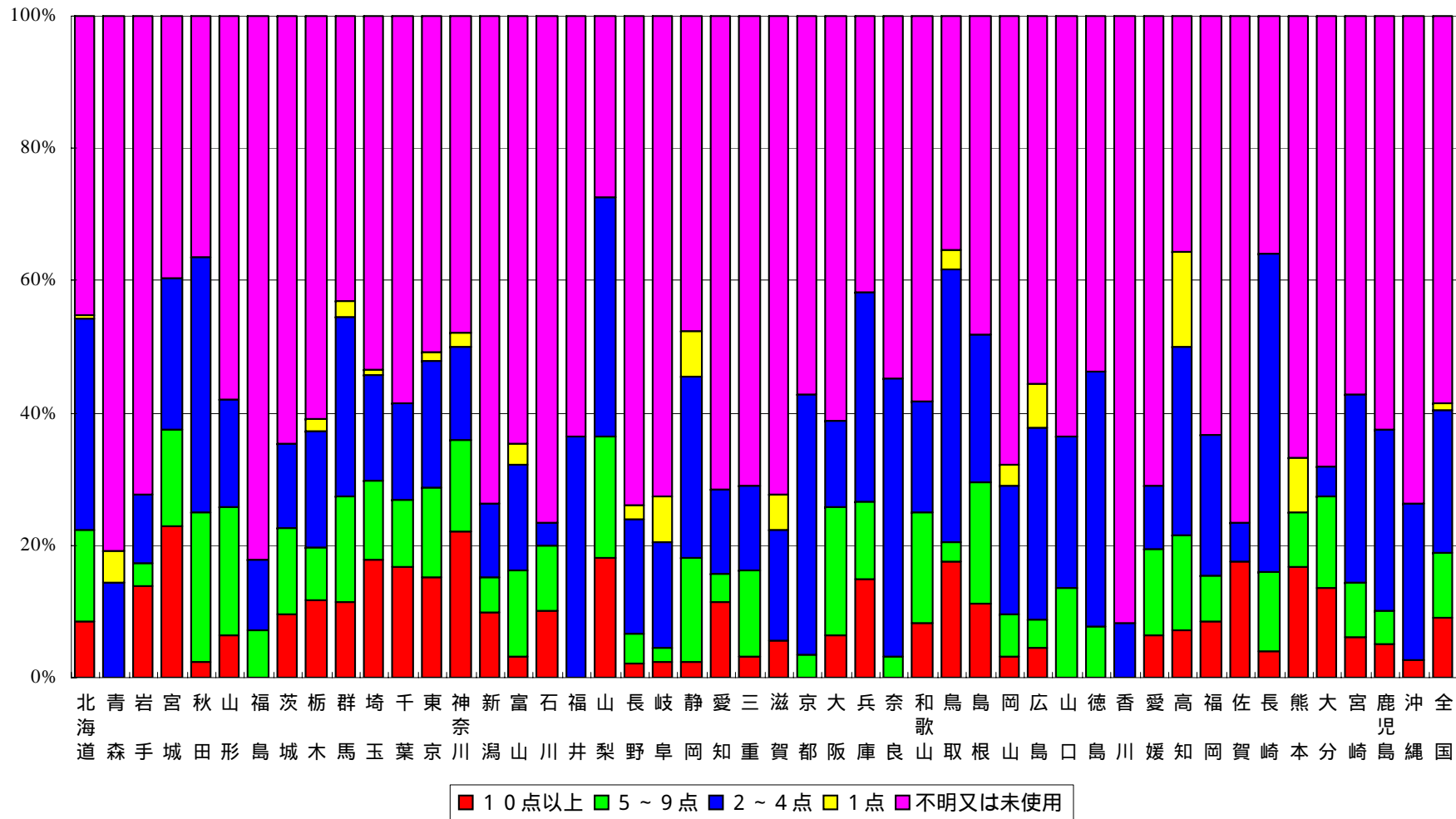


図-14 都道府県別 使用基準点数別件数の比率

表-79 都道府県別 使用基準点別使用基準点数

使用区分 都道府県	基本基準点	基本基準点+ 公共基準点	公共基準点	不明	基本基準点 既設点数
北海道	149	216	294	0	16,905
青森	10	0	1	0	3,560
岩手	12	68	2	0	5,586
宮城	32	68	252	0	3,010
秋田	78	28	15	0	3,935
山形	15	23	18	37	2,919
福島	21	6	0	16	4,936
茨城	47	16	50	0	2,172
栃木	26	130	76	0	1,829
群馬	47	131	61	0	1,578
埼玉	45	121	1,344	57	1,050
千葉	23	172	441	0	1,387
東京	0	798	346	0	686
神奈川	14	328	279	64	805
新潟	93	9	38	0	4,496
富山	30	0	30	0	1,304
石川	21	25	19	0	1,338
福井	7	0	8	0	1,218
山梨	13	41	35	0	1,270
長野	11	16	22	0	4,215
岐阜	26	8	12	0	3,197
静岡	28	29	29	0	2,745
愛知	35	0	186	0	1,724
三重	40	5	5	0	2,015
滋賀	19	0	2	3	1,173
京都	16	10	17	0	1,565
大阪	22	15	19	25	589
兵庫	65	66	134	27	3,373
奈良	3	20	16	0	1,058
和歌山	9	0	15	12	1,913
鳥取	310	348	24	1	1,480
島根	26	23	26	0	3,081
岡山	28	11	0	4	3,310
広島	12	71	29	1	3,874
山口	6	13	15	0	3,133
徳島	12	11	17	0	1,611
香川	6	0	0	0	1,196
愛媛	32	14	22	0	2,968
高知	11	0	52	2	2,661
福岡	15	382	77	3	2,128
佐賀	14	24	0	0	1,162
長崎	13	9	46	0	2,187
熊本	36	7	0	0	2,985
大分	10	44	47	0	2,587
宮崎	55	16	35	0	2,669
鹿児島	104	29	20	0	3,758
沖縄	13	0	30	4	1,339
総計	1,660	3,351	4,206	256	125,680

### (3) 都道府県別による基準点設置の状況

調査した公共測量事業の実施によって設置した基準点と水準点の状況について都道府県別に集計した(表-80-1、表-80-2)。

その結果、基準点では以下のような特徴が見られた。なお、前回調査との比較において都道府県別特性はあまり見られなかった。

基準点の総設置点数が多いのは、神奈川県(1,802点)、埼玉県(1,465点)、東京都(1,160点)。

1級基準点の設置点数が多いのは、神奈川県(100点)、埼玉県(78点)、香川県(65点、県内設置比率84.4%)。

2級基準点の設置点数が多いのは、熊本県(760点、県内設置比率98.4%)、鹿児島(760点、県内設置比率97.9%)、神奈川県(632点)。

3級基準点の設置点数が多いのは、神奈川県(1,070点)、埼玉県(1,103点、県内設置比率75.3%)、宮城県(868点、県内設置比率92.8%)。

3級基準点での永久標識設置点数が多いのは、埼玉県(854点)、宮城県(850点)、兵庫県(590点)、基準点設置数の上位は首都圏に集中している。

水準点では以下のような特徴が見られた。なお、前回調査との関連での継続した都道府県別の特性といったものは少ない。

水準点の総設置点数及び実施延長が多いのは、千葉県、埼玉県、神奈川県

1級水準点の設置点数や実施延長が多いのは、神奈川県、三重県

2級水準点の設置点数や実施延長が多いのは、千葉県、新潟県

3級水準点の設置点数や実施延長が多いのは、埼玉県、千葉県

3級水準点の永久標識の設置率はいずれの都道府県でも低い傾向にあった。

1級、2級水準点の設置点数及び実施延長が多い、千葉県、埼玉県、神奈川県、新潟県等は地盤沈下地域であり、地盤沈下調査との関連性が推測できる。

表-80-1 都道府県別 設置基準点及び等級別事業量（基準点）

等級・ 点数 県名	基準点								計 点数 (点)
	1級基準点		2級基準点		3級基準点				
	点数 (点)	県別 比率(%)	点数 (点)	県別 比率(%)	点数 (点)	県別 比率(%)	永久標識 (点)	点数 比率(%)	
北海道	7	1.2	68	11.4	522	87.4	266	51.0	597
青森	0	0.0	0	0.0	18	100.0	10	55.6	18
岩手	6	24.0	10	40.0	9	36.0	9	100.0	25
宮城	0	0.0	67	7.2	868	92.8	850	97.9	935
秋田	0	0.0	106	77.4	31	22.6	19	61.3	137
山形	3	4.2	32	44.4	37	51.4	65	175.7	72
福島	2	3.2	17	27.4	43	69.4	3	7.0	62
茨城	3	10.3	19	65.5	7	24.1	0	0.0	29
栃木	1	0.4	52	22.2	181	77.4	147	81.2	234
群馬	1	0.7	127	86.4	19	12.9	12	63.2	147
埼玉	78	5.3	284	19.4	1,103	75.3	854	77.4	1,465
千葉	7	1.5	204	43.1	262	55.4	276	105.3	473
東京都	8	0.7	359	30.9	793	68.4	386	48.7	1,160
神奈川県	100	5.5	632	35.1	1,070	59.4	440	41.1	1,802
新潟	16	3.2	388	77.3	98	19.5	36	36.7	502
富山	2	2.0	3	3.0	94	94.9	14	14.9	99
石川	0	0.0	6	10.5	51	89.5	17	33.3	57
福井	0	0.0	11	100.0	0	0.0	0	0.0	11
山梨	4	3.1	120	91.6	7	5.3	7	100.0	131
長野	21	24.1	15	17.2	51	58.6	2	3.9	87
岐阜	9	23.7	22	57.9	7	18.4	9	128.6	38
静岡県	0	0.0	22	23.4	72	76.6	53	73.6	94
愛知県	2	2.5	25	31.3	53	66.3	9	17.0	80
三重	0	0.0	34	79.1	9	20.9	30	333.3	43
滋賀	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
京都	0	0.0	25	8.2	280	91.8	10	3.6	305
大阪	0	0.0	117	78.0	33	22.0	33	100.0	150
兵庫	3	0.3	374	38.1	605	61.6	590	97.5	982
奈良	1	10.0	9	90.0	0	0.0	0	0.0	10
和歌山	0	0.0	134	87.0	20	13.0	14	70.0	154
鳥取	2	0.9	204	92.7	14	6.4	14	100.0	220
島根	0	0.0	184	68.1	86	31.9	44	51.2	270
岡山	0	0.0	75	78.1	21	21.9	18	85.7	96
広島	1	0.2	443	86.7	67	13.1	17	25.4	511
山口	0	0.0	26	25.7	75	74.3	19	25.3	101
徳島	0	0.0	10	43.5	13	56.5	12	92.3	23
香川	65	84.4	4	5.2	8	10.4	0	0.0	77
愛媛	0	0.0	7	30.4	16	69.6	16	100.0	23
高知	0	0.0	0	0.0	9	100.0	3	33.3	9
福岡	6	0.8	169	22.4	581	76.9	395	68.0	756
佐賀	0	0.0	15	37.5	25	62.5	15	60.0	40
長崎	13	26.5	36	73.5	0	0.0	6	0.0	49
熊本	0	0.0	812	98.4	13	1.6	0	0.0	825
大分	0	0.0	36	52.2	33	47.8	0	0.0	69
宮崎	0	0.0	50	39.7	76	60.3	10	13.2	126
鹿児島	10	1.3	760	97.9	6	0.8	6	100.0	776
沖縄	0	0.0	10	32.3	21	67.7	5	23.8	31
計	374	2.7	6,123	44.0	7,407	53.3	4,741	64.0	13,904

表-80-2 都道府県別 設置基準点及び等級別事業量（水準点）

等級・ 点数 県名	水準点							計	
	1級水準測量		2級水準測量		3級水準測量				
	点数 (点)	延長 (km)	点数 (点)	延長 (km)	点数 (点)	延長 (km)	永久標識 (点)	点数 (点)	延長 (km)
北海道	0	3	1	0	5	3	3	6	6
青森	0	0	0	0	2	1	0	2	1
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	17	3	0	15	3	0	18	20
秋田	0	0	1	10	0	0	0	1	10
山形	0	0	0	0	5	3	0	5	3
福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	0	20	0	0	0	0	0	0	20
栃木	0	0	0	12	0	0	0	0	12
群馬	0	0	6	19	0	0	0	6	19
埼玉	0	0	0	0	156	66	14	156	66
千葉県	0	0	0	219	216	43	0	216	262
東京都	0	0	0	30	7	1	3	7	31
神奈川県	2	555	0	0	0	0	0	2	555
新潟	0	32	0	122	0	0	0	0	154
富山	0	0	0	0	15	2	0	15	2
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0	12	0	0	12	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	34	0	0	0	0	34
岐阜	0	0	0	0	76	0	0	76	0
静岡県	0	0	0	29	0	0	0	0	29
愛知県	0	0	0	0	0	0	11	0	0
三重	0	193	0	0	9	8	9	9	201
滋賀	0	0	0	73	0	0	0	0	73
京都	0	0	1	12	0	0	0	1	12
大阪	0	14	0	12	0	0	0	0	26
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	0	0	0	0	61	8	2	61	8
山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	0	0	0	0	6	0	0	6	0
香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	0	0	3	6	8	20	8	11	26
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0	23	21	0	23	21
長崎	0	0	0	0	8	10	3	8	10
熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	7	100	20	100	27
沖縄	0	0	0	0	20	4	0	20	4
計	2	833	15	585	744	214	53	761	1,632

### 3 - 4 - 5 地方測量部等別、公共測量事業の現況

調査した公共測量事業全般を国土地理院の地方測量部等管内別に集計し、分析した。(以下各地方測量部等について、例えば「関東地方測量部」を単に「関東」と記述する。)

#### (1) 地方測量部等別による事業量等の状況

調査した公共測量事業を地方測量部等別、事業量に集計した(表-81、表-82、図-15)。

その結果、以下のような特徴が見られた。なお、前回調査との比較において地方測量部等別特性は見られなかった。

事業件数は、関東、九州、東北の順に多かった。面積では、東北、中国、関東の順。延長は九州、関東の順。点数は関東、九州の順。経費は関東、東北の順。1件当たりの経費は東北、中部、関東の順であった。

1件当たり経費分布からは、全ての管内で500万円未満が多数を占めることは共通であるが、500万円～1,000万円の比率が高いのは、中国、関東。1,000万円～5,000万円の比率が高いのは、東北、中国、中部。5,000万円～10,000万円の比率が高いのは、東北、沖縄、中部であった。

表-81 地方測量部等管内別 事業量

地測別	事業量 (件)	面積 (km <sup>2</sup> )	延長 (km)	点数 (点)	経費 (万円)	1件当たりの 経費(万円)
北海道	168	537.4	532.1	1,872	87,608	521
東北	230	5,779.9	726.4	4,682	175,887	765
関東	514	5,166.7	3,000.2	21,126	311,937	607
北陸	148	2,169.9	381.2	3,116	80,772	546
中部	192	3,183.9	509.3	2,937	141,715	738
近畿	177	2,049.9	302.8	4,233	94,648	535
中国	157	5,194.7	918.2	5,227	91,368	582
四国	97	694.5	179.2	1,021	31,259	322
九州	233	1,652.3	14,464.2	10,146	131,076	563
沖縄	33	6.1	8.6	215	12,398	376
全 国	1,949	26,435.4	21,022.1	54,575	1,158,666	594

表-82 地方測量部等管内別 1件当たりの経費の分布

地測別	500万円未満		500万～1千万円		1千万～5千万円		5千万～1億円		1億円以上		計 件数 (件)
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	
北海道	77	64.2	22	18.3	20	16.7	0	0.0	1	0.8	120
東北	57	40.4	32	22.7	44	31.2	8	5.7	0	0.0	141
関東	126	43.9	70	24.4	83	28.9	8	2.8	0	0.0	287
北陸	32	41.0	23	29.5	21	26.9	1	1.3	1	1.3	78
中部	58	48.7	21	17.6	35	29.4	5	4.2	0	0.0	119
近畿	60	58.3	22	21.4	19	18.4	1	1.0	1	1.0	103
中国	50	56.8	9	10.2	26	29.5	3	3.4	0	0.0	88
四国	21	46.7	15	33.3	9	20.0	0	0.0	0	0.0	45
九州	69	50.0	27	19.6	41	29.7	1	0.7	0	0.0	138
沖縄	15	78.9	2	10.5	1	5.3	1	5.3	0	0.0	19
全 国	565	49.6	243	21.4	299	26.3	28	2.5	3	0.3	1,138

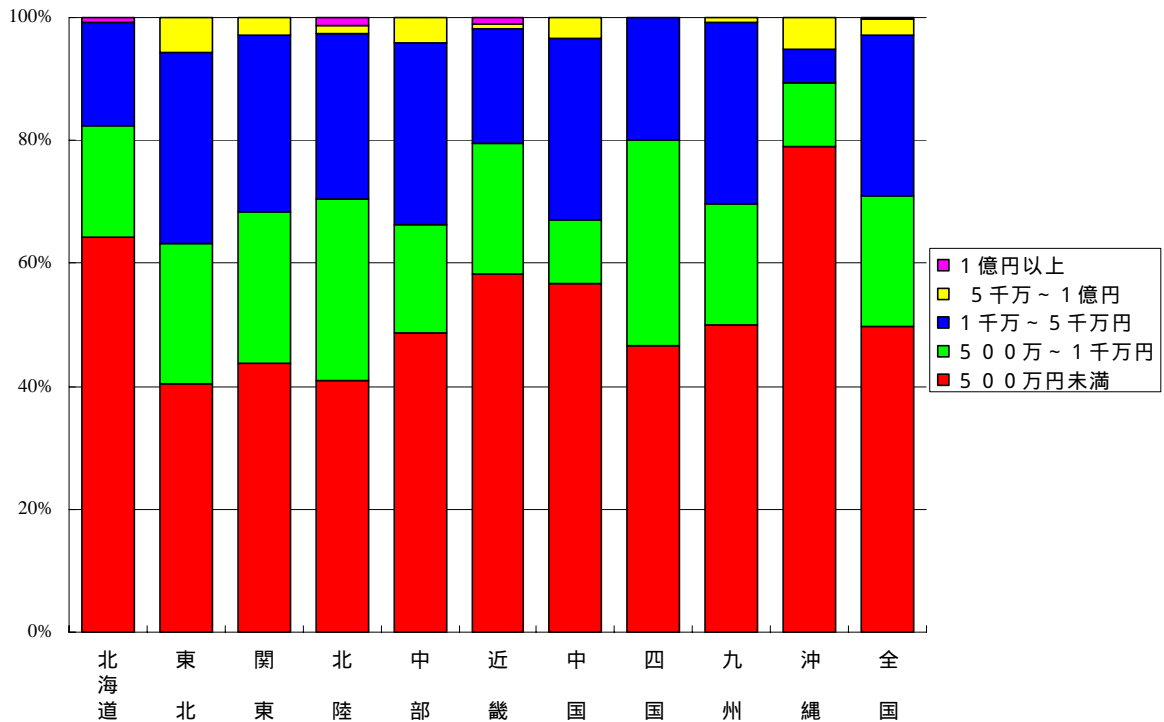


図-15 地方測量部等管内別 1件当たりの経費の比率

調査した公共測量事業を地方測量部等別、測量種別ごとに集計した（表-83、表-84、図-16）。その結果、以下のような特徴が見られた。

「3-4-4 都道府県別、公共測量事業量の現況」でも述べたが、西日本の地方測量部等管内の事業経費に低い傾向が見られるほかは、前回調査との比較において地方測量部等別特性はあまり見られなかった。

件数、経費において関東の実施比率が高いが、全地方測量部等で件数の多くを占めているのは、GPS基準点測量とTS基準点測量であった。大別すると、関東が突出しているが、四国、沖縄を除く地方測量部にはあまり変化は見られなかった。

なお、今回の調査に新たに追加した「航空レーザ」は北海道、中国、四国、沖縄、「デジタルオルソ」は北陸、沖縄以外の地方測量部管内で実施されていたが、今後、環境・防災・減災対策や固定資産税に関する現況調査においてこれらの測量技術の利用が増大するものと思われる。



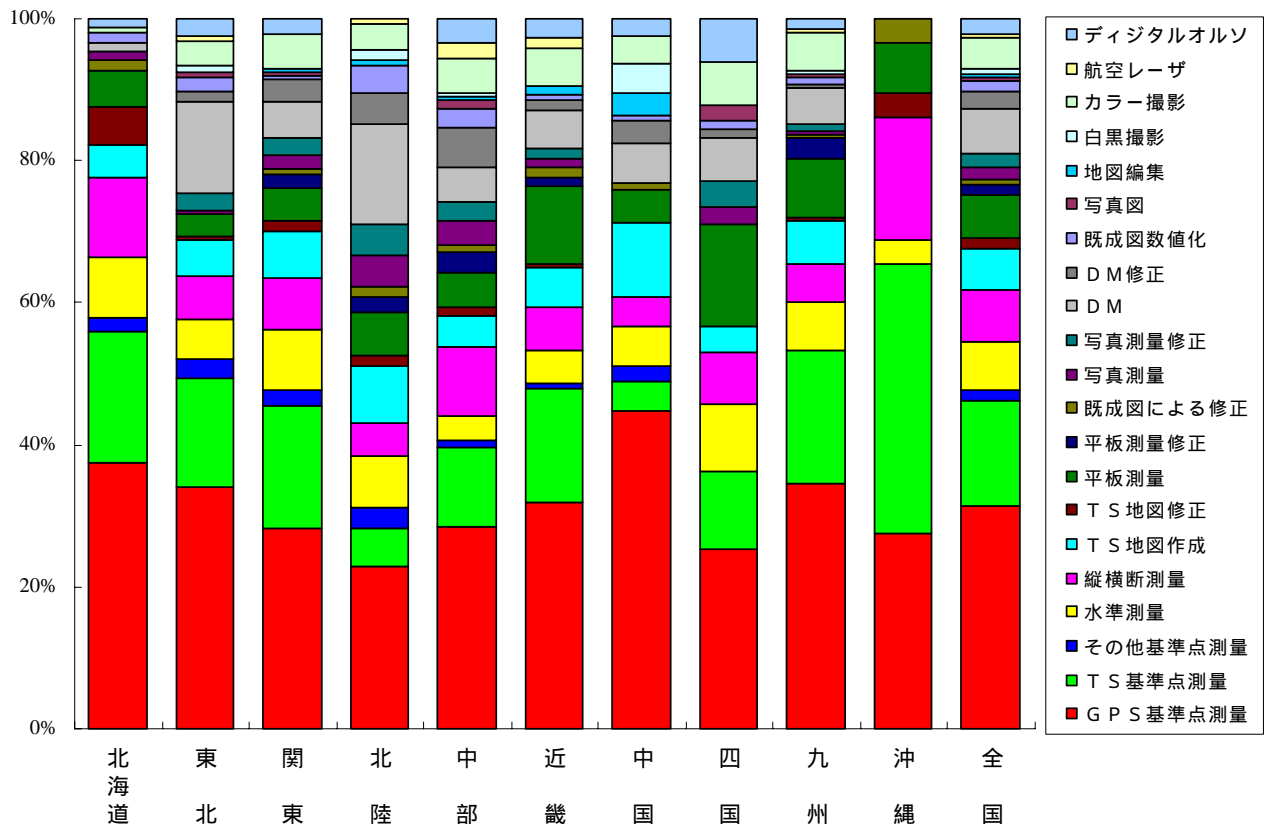


図-16 地方測量部等管内別 測量種別件数の比率

表-83 地方測量部等管内別 測量種別件数

測量種別 地測別	GPS基準 点測量	TS基準点 測量	その他基 準点測量	水準測量	縦横断 測量	T S 地図 作成	T S 地図 修正	平板測量	平板測量 修正	既成図に よる修正	写真測量	写真測量 修正
北海道	57	28	3	13	17	7	8	8	0	2	2	0
東北	67	30	5	11	12	10	1	6	0	0	1	5
関東	122	75	10	36	32	28	7	20	8	3	9	10
北陸	31	7	4	10	6	11	2	8	3	2	6	6
中部	52	20	2	6	18	8	2	9	5	2	6	5
近畿	47	24	1	7	9	8	1	16	2	2	2	2
中国	56	5	3	7	5	13	0	6	0	1	0	0
四国	21	9	0	8	6	3	0	12	0	0	2	3
九州	70	38	0	14	11	12	1	17	6	1	1	2
沖縄	8	11	0	1	5	0	1	2	0	1	0	0
全 国	531	247	28	113	121	100	23	104	24	14	29	33

測量種別 地測別	DM	DM修正	既成図 数値化	写真図	地図編集	白黒撮影	カラー 撮影	航空 レーザ	デジタル オルソ	計
北海道	2	0	2	0	0	0	1	0	2	152
東北	25	3	4	1	0	2	7	1	5	196
関東	22	14	2	2	2	0	21	1	9	433
北陸	19	6	5	0	1	2	5	1	0	135
中部	9	10	5	2	1	1	9	4	6	182
近畿	8	2	1	0	2	0	8	2	4	148
中国	7	4	1	0	4	5	5	0	3	125
四国	5	1	1	2	0	0	5	0	5	83
九州	10	1	2	1	0	1	11	1	3	203
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
全 国	107	41	23	8	10	11	72	10	37	1,686

表-84 地方測量部等管内別 測量種別経費

測量種別 地測別	GPS基準 点測量	TS基準点 測量	その他基 準点測量	水準測量	縦横断 測量	T S地図 作成	T S地図 修正	平板測量	平板測量 修正	既成図に よる修正	写真測量	写真測量 修正
北海道	30,521	9,693	45	822	2,297	9,199	7,126	1,580	0	0	0	0
東北	85,687	21,471	1,100	5,044	2,885	3,687	0	673	0	0	0	11,888
関東	104,240	58,827	2,543	20,035	8,820	12,053	1,986	17,738	3,988	68	18,673	12,715
北陸	19,822	738	499	2,452	2,233	7,821	0	2,717	992	11,259	1,055	6,420
中部	40,570	13,580	200	6,176	10,220	1,879	300	4,803	7,894	0	5,684	1,789
近畿	31,927	4,837	500	1,091	6,250	5,386	0	5,828	392	715	18,900	1,957
中国	30,135	9,949	395	984	2,834	2,793	0	5,137	0	0	0	0
四国	8,871	2,764	0	2,013	2,820	134	0	4,120	0	0	0	100
九州	69,430	16,624	0	2,699	5,127	6,115	4,410	4,408	4,262	0	100	580
沖縄	1,476	7,850	0	0	192	0	600	2,280	0	0	0	0
全 国	422,679	146,333	5,282	41,315	43,678	49,067	14,422	49,284	17,528	12,042	44,412	35,449

測量種別 地測別	DM	DM修正	既成図 数値化	写真図	地図編集	白黒撮影	カラー 撮影	航空 レーザ	デジタル オルソ	計
北海道	24,462	0	1,680	0	0	0	0	0	0	87,424
東北	25,267	1,200	5,552	0	0	1,313	5,568	663	3,014	175,012
関東	27,297	1,892	870	1,632	162	0	10,287	1,232	2,728	307,786
北陸	16,242	4,960	814	0	0	0	2,150	600	0	80,772
中部	11,599	7,211	4,262	530	0	0	12,884	6,336	4,529	140,446
近畿	7,826	2,072	0	0	521	0	3,941	1,054	684	93,880
中国	12,300	9,450	0	0	0	0	7,909	0	6,409	88,295
四国	0	0	0	1,327	0	0	5,524	0	2,910	30,583
九州	5,799	0	690	299	0	234	9,479	470	140	130,866
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,398
全 国	130,792	26,785	13,868	3,788	683	1,547	57,742	10,355	20,413	1,147,460

調査した公共測量事業を地方測量部等別、測量目的別に集計した（表-85、表-86、図-17）、その結果、以下のような特徴が見られた。

前述のとおり、公共測量事業全体で実施件数の高いのは、道路( 21.3% )、都市( 14.0% )、農業基盤( 11.5% )の順であり、このことは全地方測量部等管内にも同様の傾向があるが、その他以下の特徴が見られる。

関東では、都市、その他、世界測地系への変換を目的とする実施件数が比較的多い。

中部、近畿では、都市、道路に占めている割合が高い。

九州で農業基盤に占めている割合が高い。

上記の地方測量部等別傾向は、経費的においても同様の傾向となっている。

表-85 地方測量部等管内別 測量目的別件数

測量目的	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国
都市	9	26	98	20	45	32	18	5	17	3	273
生活環境	4	14	19	14	4	17	3	7	12	0	94
道路	76	49	93	32	48	20	17	21	49	12	417
鉄道	0	5	1	4	0	0	0	0	2	0	12
港湾・空港	12	1	6	3	2	0	3	0	1	2	30
海岸	1	1	0	3	1	1	1	0	4	0	12
治山	3	10	8	12	5	4	10	1	5	0	58
治水	9	7	32	5	10	6	6	8	10	1	94
森林	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	6
農業基盤	17	32	34	9	12	31	19	10	60	2	226
鉱工業	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
地籍調査	1	3	1	1	2	0	0	0	0	0	8
調査・研究	0	1	0	1	0	0	3	1	4	0	10
災害	2	1	0	2	0	0	1	2	0	0	8
総合計画	1	7	4	1	8	3	0	1	0	0	25
固定資産現況調査	1	9	19	1	7	4	6	6	7	0	60
世界測地系への変換	0	1	29	2	2	1	1	0	1	0	37
その他	14	17	53	6	22	20	29	14	21	2	198
無回答	16	45	115	31	23	38	39	21	40	11	379
総合	168	230	514	148	192	177	157	97	233	33	1,949

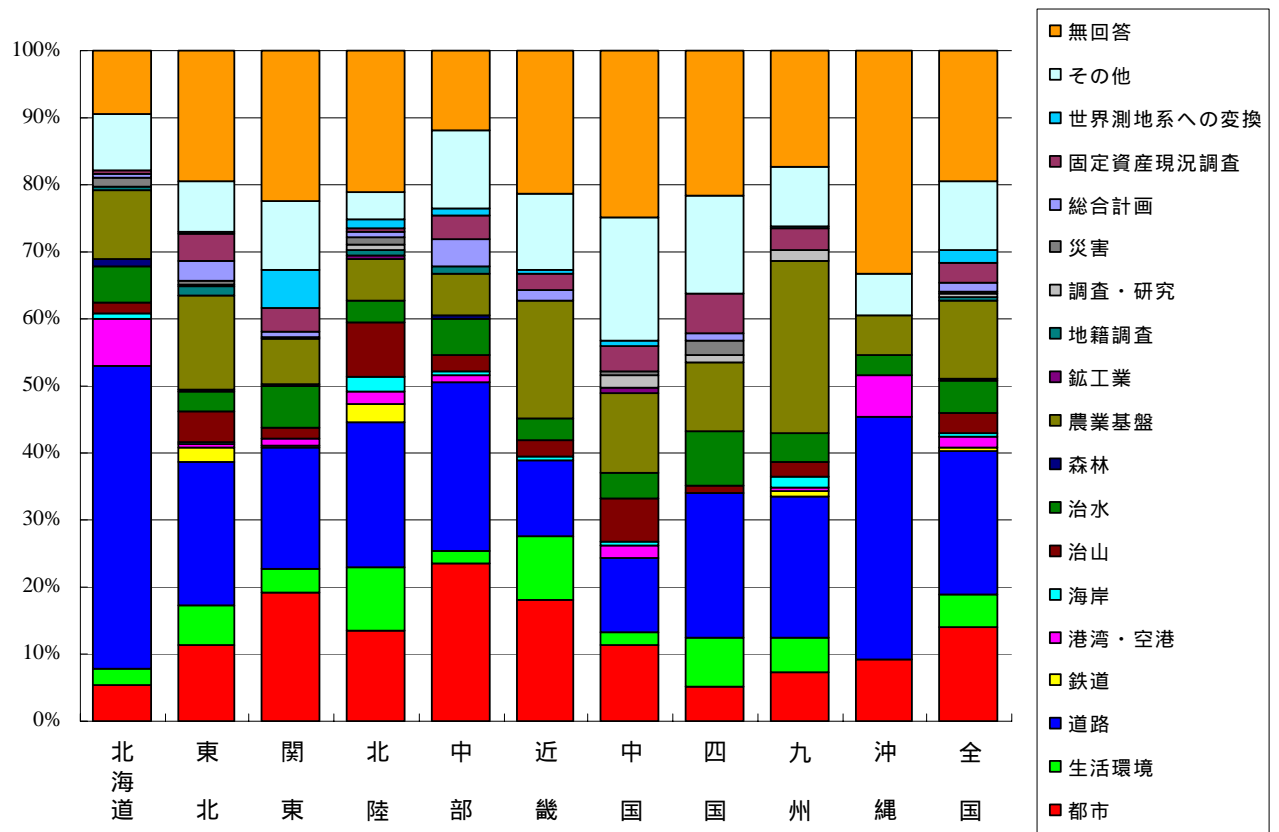


図-17 地方測量部等管内別 測量目的別件数の比率

表-86 地方測量部等管内別 測量目的別経費 (万円)

地測別 測量目的	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国
都市	6,997	12,586	77,948	32,450	41,144	29,884	17,342	5,149	13,973	6,926	244,399
生活環境	1,378	6,724	14,126	10,081	700	6,719	511	1,637	7,140	0	49,016
道路	49,273	36,807	73,616	17,074	52,525	3,041	16,516	5,193	38,831	3,817	296,693
鉄道	0	5,620	0	5,513	0	0	0	0	0	0	11,133
港湾・空港	3,139	0	3,206	315	0	0	189	0	0	180	7,029
海岸	200	0	0	550	231	200	0	0	514	0	1,695
治山	769	3,072	9,793	1,929	10,170	1,816	21,628	0	1,010	0	50,187
治水	6,480	1,289	24,470	1,301	9,307	8,793	38	6,170	2,602	20	60,469
森林	0	44	288	0	0	0	0	0	0	0	332
農業基盤	9,258	67,414	26,858	9,484	2,321	25,707	7,463	1,251	25,284	670	175,710
鉱工業	0	0	0	0	0	0	76	0	0	0	76
地籍調査	250	2,142	439	0	431	0	0	0	0	0	3,262
調査・研究	0	0	0	0	0	0	230	1,000	2,971	0	4,201
災害	6,009	0	0	518	0	0	2,000	0	0	0	8,527
総合計画	0	2,403	4,790	0	490	2,682	0	0	0	0	10,365
固定資産現況調査	0	7,386	9,444	600	13,713	1,211	660	4,827	6,277	0	44,118
世界測地系への変換	0	0	22,893	399	2,342	500	110	0	1,890	0	28,134
その他	3,672	30,342	38,160	558	6,814	13,044	21,532	5,331	29,545	785	149,783
無回答	184	58	5,906	0	1,527	1,051	3,073	701	1,039	0	13,539
総合	87,608	175,887	311,937	80,772	141,715	94,648	91,368	31,259	131,076	12,398	1,158,666

(2) 地方測量部等別による使用した基準点の状況

調査した公共測量事業の実施に際して使用した基準点の使用点数などを地方測量部等別に集計した(表-87、表-88)。

使用した基準点数、使用した基準点の区分と、各地方測量部等別に特段の特徴は見受けられなかった。

表-87 地方測量部等管内別 使用基準点数別件数

使用区分 地測別	不明又は 未使用	1点	2～4点	5～9点	10点以上	計
北海道	77	1	53	23	14	168
東北	138	1	45	28	18	230
関東	284	7	89	59	75	514
北陸	106	1	19	11	11	148
中部	127	5	34	15	11	192
近畿	96	1	50	17	13	177
中国	83	5	44	13	12	157
四国	65	2	19	8	3	97
九州	140	1	54	18	20	233
沖縄	23	0	9	0	1	33
全国	1,139	24	416	192	178	1,949

表-88 地方測量部等管内別 使用基準点及び種類別使用基準点数

使用区分 地測別	基本基準点(点)	基本基準点+ 公共基準点(点)	公共基準点(点)	計(点)
北海道	149	216	294	659
東北	168	193	288	649
関東	223	1,753	2,655	4,631
北陸	151	34	97	282
中部	132	42	234	408
近畿	134	111	198	443
中国	382	466	94	942
四国	61	25	91	177
九州	247	511	225	983
沖縄	13	0	30	43
全国	1,660	3,351	4,206	9,217

(3) 地方測量部等別による基準点設置の状況

調査した公共測量事業の実施によって設置した基準点と水準点の状況について、地方測量部等別に集計した(表-89)。

その結果、基準点では以下のような特徴が見受けられたが、これは都道府県別による集計を反映したものである。

基準点の総設置点数が多いのは、関東(5,458点)、九州(2,641点)。

1級基準点の設置点数が多いのは、関東(203点)。管内設置比率では四国の44.5%が高い。

2級基準点の設置点数が多いのは、九州（1,878点、管内設置比率71.1%）関東（1,812点）、  
 3級基準点の設置点数が多いのは、関東（3,443点）東北（1,006点、管内設置比率80.5%）、  
 3級基準点での永久標識設置点数が多いのは、関東（2,124点）東北（956点、管内設置比率95.0）

水準点では以下のような特徴が見受けられた。なお、前回調査との関連での継続性した地方測量部等別の顕著な特徴といったものはなかった。

水準点の総設置点数、1級・2級・3級水準点の設置点数や実施延長が多いのは、いずれも関東で、3級水準点の永久標識の設置率は、いずれの地域でも低い傾向にあり、都道府県別での分析と同様であった。

表-89 地方測量部等管内別 設置基準点及び等級別事業量（基準点）

等級・ 点数 地測別	基準点								計 点数 (点)
	1級基準点		2級基準点		3級基準点				
	点数 (点)	地測 比率 (%)	点数 (点)	地測 比率 (%)	点数 (点)	地測 比率 (%)	永久標識 (点)	点数比率 (%)	
北海道	7	1.2	68	11.4	522	87.4	266	51.0	597
東北	11	0.9	232	18.6	1,006	80.5	956	95.0	1,249
関東	203	3.7	1,812	33.2	3,443	63.1	2,124	61.7	5,458
北陸	18	2.7	408	61.0	243	36.3	67	27.6	669
中部	31	9.2	115	34.1	191	56.7	101	52.9	337
近畿	7	0.4	647	40.6	938	58.9	647	69.0	1,592
中国	3	0.3	926	78.2	255	21.5	104	40.8	1,184
四国	65	44.5	27	18.5	54	37.0	39	72.2	146
九州	29	1.1	1,878	71.1	734	27.8	432	58.9	2,641
沖縄	0	0.0	10	32.3	21	67.7	5	23.8	31
全国	374	2.7	6,123	44.0	7,407	53.3	4,741	64.0	13,904

等級・ 点数 地測別	水準点							計	
	1級水準測量		2級水準測量		3級水準測量			点数 (点)	延長 (km)
	点数 (点)	延長 (km)	点数 (点)	延長 (km)	点数 (点)	延長 (km)	永久標識 (点)		
北海道	0	3	1	0	5	3	3	6	6
東北	0	17	4	10	22	7	0	26	34
関東	2	575	6	280	379	111	17	387	965
北陸	0	32	0	156	27	2	0	27	190
中部	0	193	0	29	85	8	20	85	230
近畿	0	14	1	97	0	0	0	1	111
中国	0	0	0	0	61	8	2	61	8
四国	0	0	3	6	14	20	8	17	26
九州	0	0	0	7	151	55	3	151	62
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国	2	833	15	585	744	214	53	761	1,632

調査した公共測量事業のうち、基準点測量に係わるものを地方測量部等別、等級別に集計した(表-90)。  
 地方測量部等別特徴として、北海道で3級TS基準点測量が、四国で1級GPS基準点測量が、九州で2級GPS基準点測量、関東で2級のその他の基準点測量が比較的多く行なわれる傾向が見受けられた。この傾向は前回調査でも多少見られた。

前回調査との比較では、1級基準点測量をGPS基準点測量で行う比率は前回に引き続き高いものがある

った（H13、86.6% H16、73.2%）。また、2級GPS基準点測量（H13、39.2% H16、79.9%）と3級GPS基準点測量（H13、17.1% H16、72.1%）では、格段とその実施比が高くなっているが、TS基準点測量での実施比は低下している。このことから、GPSによる基準点測量が急速に普及していることが見受けられる。

表-90 地方測量部等管内別 設置基準点及び等級別事業量（基準点測量）

等級・点数 地測別	GPS基準点測量			TS基準点測量			その他基準点測量			計		
	1級	2級	3級	1級	2級	3級	1級	2級	3級	1級	2級	3級
北海道	7	59	213	0	1	237	0	0	20	7	60	470
東北	9	186	944	2	26	55	10	0	10	21	212	1,009
関東	185	1,345	1,290	0	322	1,018	113	829	0	298	2,496	2,308
北陸	18	404	227	0	0	0	4	0	0	22	404	227
中部	31	106	90	0	0	47	0	0	18	31	106	155
近畿	7	529	859	0	118	42	0	16	0	7	663	901
中国	3	901	179	0	18	16	0	4	71	3	923	266
四国	65	27	43	0	0	11	0	0	0	65	27	54
九州	29	1,833	448	0	21	111	0	0	0	29	1,854	559
沖縄	0	6	13	0	0	8	0	0	0	0	6	21
全国	354	5,396	4,306	2	506	1,545	127	849	119	483	6,751	5,970

（4）地方測量部等別による地図作成の状況

調査した公共測量事業のうち、地図作成に係わるものを地方測量部等別、測量種別に集計した（表-91、表-92）。

写真測量関連では、いずれの地方測量部等管内でも、地図縮尺1/2,500、1/500、1/1,000の実施比率が高い状況にあり、特段の特徴は見受けられなかった。また、実測関連では、関東を除き（1/500、1/250の実施比が高い）いずれの地方測量部等管内でも、地図縮尺1/500、1/1,000の順に実施比率が高い状況にあり、同じく特段の特徴は見受けられなかった。



表-91 地方測量部等管内別 地図縮尺別件数 (写真測量、写真測量修正、DM、DM修正)

縮尺 地測別	1/100	1/200	1/250	1/300	1/500	1/1,000	1/2,000	1/2,500	1/3,000	1/5,000	1/10,000	1/20,000	1/50,000	1/50,000	計
	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	未滿	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
東北	0	0	0	0	9	10	0	11	0	0	2	0	0	0	32
関東	0	0	0	0	6	3	0	21	0	0	2	0	0	0	32
北陸	0	0	0	0	9	3	0	13	0	0	2	0	0	0	27
中部	0	0	0	0	3	5	0	10	0	0	1	0	0	0	19
近畿	0	0	0	0	2	2	0	4	0	1	0	0	0	0	9
中国	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	6
四国	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
九州	0	0	0	0	3	2	0	3	0	0	0	0	0	0	8
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国	0	0	0	0	33	26	0	71	0	2	7	0	0	0	139

表-92 地方測量部等管内別 地図縮尺別件数

(平板測量、平板測量修正、TS地図作成、TS地図修正)

縮尺 地測別	1/100	1/200	1/250	1/300	1/500	1/1,000	1/2,000	1/2,500	1/3,000	1/5,000	1/10,000	1/20,000	1/50,000	1/50,000	計
	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	未滿	
北海道	0	0	0	0	4	14	0	0	0	0	0	0	0	0	18
東北	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	1	0	7
関東	0	0	13	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
北陸	0	0	0	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	17
中部	0	0	0	0	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	16
近畿	0	1	1	0	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19
中国	1	0	1	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13
四国	0	0	2	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
九州	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	1	0	26
沖縄	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
全国	1	1	17	0	127	26	0	0	0	0	0	0	2	0	174

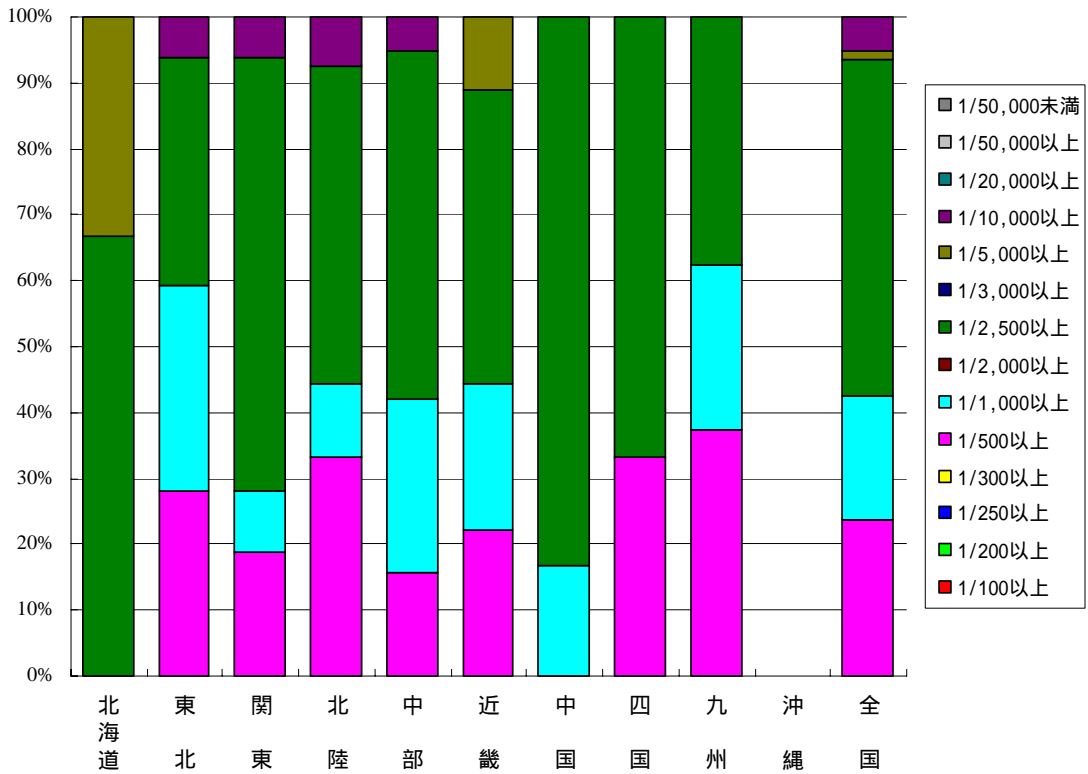


図-18 地方測量部等管内別 地図縮尺別件数の比率  
(写真測量、写真測量修正、DM、DM修正)

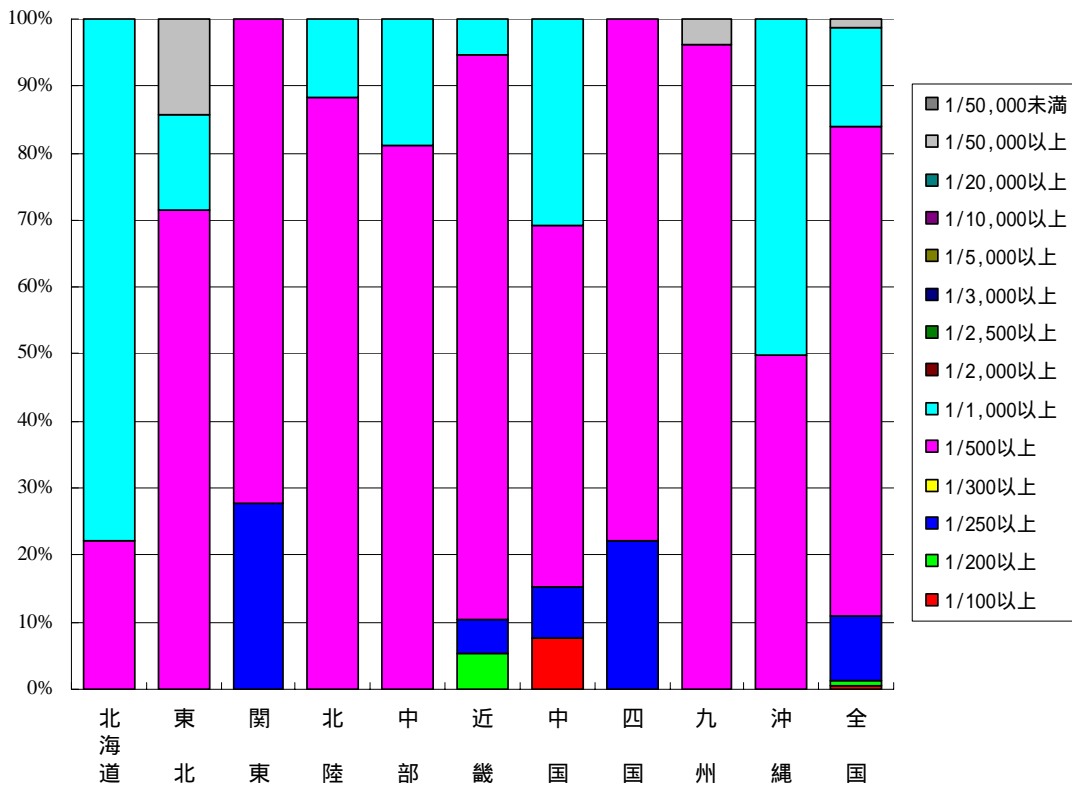


図-19 地方測量部等管内別 地図縮尺別件数の比率  
(平板測量、平板測量修正、TS地図作成、TS地図修正)

( 5 ) 地方測量部等別による空中写真撮影の状況

調査した公共測量事業のうち空中写真撮影に係わるものを地方測量部等別、縮尺別件数に集計した(表-93～表-94)。

各地方測量部等別管内とも、撮影縮尺 1/10,000 の実施比率が最も高く、次いで、その周辺の撮影縮尺での実施比率が高いという傾向で特段の特徴は見受けられなかった。

表-93 地方測量部等管内別 撮影縮尺別件数 (白黒)

縮尺 地測別	1/3,000 以上	1/4,000 以上	1/5,000 以上	1/6,000 以上	1/7,000 以上	1/8,000 以上	1/10,000 以上	1/12,500 以上	1/16,000 以上	1/20,000 以上	1/40,000 以上	1/40,000 未満	計
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
関東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国	0	0	1	0	0	0	2	0	0	4	0	0	7

表-94 地方測量部等管内別 撮影縮尺別件数 (カラー)

縮尺 地測別	1/3,000 以上	1/4,000 以上	1/5,000 以上	1/6,000 以上	1/7,000 以上	1/8,000 以上	1/10,000 以上	1/12,500 以上	1/16,000 以上	1/20,000 以上	1/40,000 以上	1/40,000 未満	計
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	1	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	7
関東	1	0	4	0	0	2	6	2	1	1	0	0	17
北陸	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
中部	0	0	0	0	0	1	6	1	0	0	0	0	8
近畿	0	0	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	6
中国	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
四国	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
九州	1	1	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	8
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国	3	1	7	0	0	8	27	6	1	1	0	0	54

### 3 - 5 地理情報システム (GIS) の導入等に関する現況

前回、前々回に引き続き、GIS の導入等に関する調査を実施した。

GIS については、平成 7 年改定の建設省公共測量作業規程に初めて盛り込まれた後、政府主導で進められている e-Japan 重点計画や GIS アクションプログラム、あるいは社会一般における IT 化の進展、特にカーナビゲーションやインターネットやモバイルといった分野で利用が図られたことで、広く進展しつつあることが知られている。また、地図・測量関連企業からは、GIS の構築といった面ばかりでなく、新しい位置・地図情報産業の創出という点で関心を集めている。

今回は、従来の調査項目のほかに、「地理情報標準」の周知状況とデータの同標準への準拠状況調査のほか、「電子国土 Web システム」への理解とその利用状況について、追加して調査を実施した。

#### 3 - 5 - 1 GIS 導入に関するアンケート回収状況

GIS 導入に関する照会件数、回答受領件数、回収率及び回答内訳は、表-95 に示すとおりであった。前回調査に比し、回収率は 58.8% (前回 24%) とかなりの高率であったが、回答受領件数に対する実施件数 (該当ありの件数) は 36.7% であり、前回の 97% を下回っている。(前々回は (40%))

表-95 GIS導入に関する照会件数、回答率及び導入状況(システムの設計・検討中を含む)

平成16年度

		計画機関	全国総計	北海道地測	東北地測	関東地測	北陸地測	中部地測	近畿地測	中国地測	四国地測	九州地測	沖縄支所
照会件数	国土交	369	72	45	59	27	36	32	30	21	40	7	
	国	186	8	28	29	20	13	23	17	14	31	3	
	公	180	6	16	45	7	32	31	12	11	20	0	
	県	1,045	27	138	259	84	83	129	93	69	152	11	
	市	1,786	158	166	392	105	242	287	174	61	188	13	
	計	3,566	271	393	784	243	406	502	326	176	431	34	
回答受領件数	国土交	245	43	32	35	21	22	19	25	16	27	5	
	国	137	12	19	28	11	6	16	11	6	25	3	
	公	102	4	12	26	2	14	18	7	9	10	0	
	県	570	27	88	134	40	48	58	53	34	85	3	
	市	1,031	99	101	280	59	136	107	83	39	120	7	
	その他	11	0	4	2	1	3	0	1	0	0	0	
計	2,096	185	256	505	134	229	218	180	104	267	18		
回収率(%)	国土交	66.4	59.7	71.1	59.3	77.8	61.1	59.4	83.3	76.2	67.5	71.4	
	国	73.7	150.0	67.9	96.6	55.0	46.2	69.6	64.7	42.9	80.6	100.0	
	公	56.7	66.7	75.0	57.8	28.6	43.8	58.1	58.3	81.8	50.0	0.0	
	県	54.5	100.0	63.8	51.7	47.6	57.8	45.0	57.0	49.3	55.9	27.3	
	市	57.7	62.7	60.8	71.4	56.2	56.2	37.3	47.7	63.9	63.8	53.8	
	計	58.8	68.3	65.1	64.4	55.1	56.4	43.4	55.2	59.1	61.9	52.9	
回答内容	該当ありの数	国土交	75	5	11	12	8	11	4	4	7	11	2
		国	32	2	4	3	6	2	3	3	3	4	2
		公	19	3	2	5	0	2	3	1	0	2	1
		県	153	1	32	30	6	20	7	15	18	24	0
		市	490	41	51	138	33	75	43	29	19	57	4
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	769	52	100	188	53	110	60	52	47	98	9	
	測量実施率(%)	国土交	30.6	11.6	34.4	34.3	38.1	50.0	21.1	16.0	43.8	40.7	40.0
		国	23.4	16.7	21.1	10.7	54.5	33.3	18.8	27.3	50.0	16.0	66.7
		公	18.6	75.0	16.7	19.2	0.0	14.3	16.7	14.3	0.0	20.0	0.0
		県	26.8	3.7	36.4	22.4	15.0	41.7	12.1	28.3	52.9	28.2	0.0
		市	47.5	41.4	50.5	49.3	55.9	55.1	40.2	34.9	48.7	47.5	57.1
計		36.7	28.1	39.1	37.2	39.6	48.0	27.5	28.9	45.2	36.7	50.0	

国土交:国土交通省、国:国土交通省以外の国の機関、公:公社・公団・独立行政法人、県:都道府県、市:市町村及び特別区

### 3 - 5 - 2 計画機関別、GISの導入等に関する現況

#### (1) 計画機関別によるGISの導入状況

公共測量成果等の活用という観点からGISの導入状況とその周辺環境について調査し、計画機関別に集計した。

#### インターネット及びネットワーク(LAN)接続の状況

計画機関におけるインターネット及びネットワーク(LAN)への接続の状況について調査・集計した(表-96)。

その結果、「すべてのPCがインターネット接続可能、又は組織のLANに接続されている」が62.9%、「一部のPCがインターネット接続可能であり、ほぼすべて組織内でLANに接続されている」が24.4%、「一部のPCのみインターネット接続可能であり、一部LANに接続されている」が7.4%、「インターネット又はLANの接続はされていない」は5.3%であった。

全体の約60%で、すべてのPCがインターネットとネットワーク(LAN)に接続されている環境にあった。機関別に見ても、都道府県では約80%が、市区町村では50~60%が同様の状態にあった。ただし、国の機関では、機関ごとの接続環境にバラつきが多い。

表-96 計画機関別 インターネット及びネットワーク(LAN)接続の状況

区分 計画機関	すべてのPCがインターネット接続可能、又は組織のLANに接続されている		一部のPCがインターネット接続可能であり、ほぼすべて組織内でLANに接続されている		一部のPCのみインターネット接続可能であり、一部LANに接続されている		インターネット又はLANの接続はされていない		計 件数 (件)
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	1	5.3	4	21.1	13	68.4	1	5.3	19
財務省	2	33.3	3	50.0	1	16.7	0	0.0	6
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	44	72.1	12	19.7	3	4.9	2	3.3	61
経済産業省	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4
国土交通省	125	71.8	42	24.1	4	2.3	3	1.7	174
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	2	40.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0	5
郵政公社	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	2
都道府県	318	79.7	49	12.3	18	4.5	14	3.5	399
市・特別区	277	54.2	165	32.3	33	6.5	36	7.0	511
町	145	53.3	72	26.5	34	12.5	21	7.7	272
村	15	60.0	5	20.0	3	12.0	2	8.0	25
独立行政法人	26	50.0	20	38.5	4	7.7	2	3.8	52
公団	20	76.9	5	19.2	1	3.8	0	0.0	26
無回答	1	25.0	1	25.0	0	0.0	2	50.0	4
総計	981	62.9	381	24.4	115	7.4	83	5.3	1,560

#### 計画機関別による GIS への取り組み状況

各機関における GIS への取り組み状況について調査・集計した（表-97）。

その結果、「既に利用している業務がある」が 36.0%、「未稼動だがシステム構築又はデータ整備中である」が 6.4%、「システム設計等の調査・検討中の業務がある」が 3.3%、「導入すべきかどうか検討中の業務がある」が 7.6%、「関心はあるが、未検討である」が 37.3%、「関心がない」が 4.2%、「GIS を知らない」5.2%であった。

「既に利用している業務がある」というものに、システム構築中あるいはデータ整備中、システム設計等の調査・検討中、導入を検討中のものを加えると 53.3%となり、約半数が何らかの形で GIS に関わっていることになる。一方で、「関心はあるが、未検討」、「関心がない」、「知らない」といったものが 46.7%あり、GIS 導入に関心が低いものが約半数ということにもなる。

ところが、これまで多くの講習会やセミナーなどが開催されているにも係わらず、依然「GIS を知らない」と答えた機関が 5.2%見受けられた。

計画機関別の特徴としては、国の機関では農林水産省と国土交通省の導入比率がやや高い。市区の導入比率が約 50%と平均値よりやや高いのが注目できる。



表-97-1 計画機関別 GISの取り組み件数

区分 計画機関	既に利用している業務がある		未稼働だがシステム構築又はデータ整備中である		システム設計等の調査・検討中の業務がある		導入すべきかどうか検討中の業務がある		関心はあるが、未検討である		関心がない		GISを知らない		計
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	1	8.3	0	0.0	2	16.7	7	58.3	1	8.3	1	8.3	12
財務省	1	20.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	5
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	12	20.3	5	8.5	2	3.4	5	8.5	31	52.5	1	1.7	3	5.1	59
経済産業省	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	4
国土交通省	50	31.4	19	11.9	5	3.1	1	0.6	63	39.6	7	4.4	14	8.8	159
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	2	33.3	1	16.7	2	33.3	6
郵政公社	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2
都道府県	103	28.2	14	3.8	12	3.3	24	6.6	165	45.2	25	6.8	22	6.0	365
市・特別区	243	49.9	29	6.0	21	4.3	47	9.7	128	26.3	10	2.1	9	1.8	487
町	90	35.0	15	5.8	5	1.9	29	11.3	102	39.7	7	2.7	9	3.5	257
村	8	34.8	1	4.3	1	4.3	1	4.3	12	52.2	0	0.0	0	0.0	23
独立行政法人	8	17.0	4	8.5	1	2.1	1	2.1	24	51.1	5	10.6	4	8.5	47
公団	5	22.7	2	9.1	0	0.0	0	0.0	6	27.3	0	0.0	9	40.9	22
無回答	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	4
総計	523	36.0	93	6.4	48	3.3	110	7.6	542	37.3	61	4.2	75	5.2	1,452

GIS への取り組み状況の動向を見るため、過去のデータを含めて、計画機関及び取り組み状況区分をそれぞれ大別して集計した（表-97-2）。

その結果、全体的に「整備中」とするものが増加傾向にあるものの、「検討中」とするものが減少し、「関心がない」とするものに変化がないなど頭打ち状態にあることが分かる。このことは、大別した計画機関別にみても、ほぼ同じ傾向である。

表-97-2 計画機関別 GIS取り組みに関する前回、前々回との比較

区分 計画機関	既に利用、システム構築又はデータ整備中			システム設計等の調査検討又は導入について検討中			未検討、関心がない又はGISを知らない		
	今回	前回	前々回	今回	前回	前々回	今回	前回	前々回
国の機関	37.6	47.0	35.0	6.1	13.0	10.0	56.3	40.0	55.0
地方公共団体 公社・公団等	44.4	33.0	20.0	12.4	19.0	14.0	43.2	48.0	66.0
総合	42.4	34.0	21.0	10.9	18.0	14.0	46.7	48.0	65.0

前項で、既に何らかの形でGISに係わっている（既にGISを利用している業務がある、構築中あるいはデータ整備中、システム設計等の調査・検討中、及び導入を検討中）と回答した774の機関に、導入の目的とした業務について調査・集計した（表-98）。

業務分野を、20区分して複数回答を可とする回答を求めた。

その結果、2,681件の回答を得た。すなわち、業務について導入済み、整備中あるいは導入を検討している業務が、1機関当たり約3.4件あることになる。対象業務としては、多い順に、道路管理12.8%、固定資産11.7%、都市計画11.2%、農林政8.1%であった。

各計画機関別の特徴としては、固定資産は市区・町で、都市計画は都道府県・市区・町で、地籍は町・村で、道路管理は公団と都道府県で、上水道は村で、農林政は都道府県と村で、それぞれ高い比率を示している。

表-98 計画機関別 GIS導入(予定を含む)業務件数

区分 計画機関	固定資産		住民登録		管財		地籍		消防防災		環境管理		医療・福祉	
	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
農林水産省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.6	0	0.0	1	3.6	0	0.0
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
国土交通省	0	0.0	0	0.0	1	1.0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	0	0.0
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
都道府県	8	2.2	8	2.2	8	2.2	1	0.3	22	6.0	22	6.0	10	2.7
市・特別区	215	14.1	17	1.1	44	2.9	94	6.2	94	6.2	35	2.3	19	1.2
町	81	13.9	9	1.5	22	3.8	66	11.3	19	3.3	9	1.5	7	1.2
村	4	11.1	1	2.8	1	2.8	8	22.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
独立行政法人	0	0.0	0	0.0	1	5.6	2	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公団	2	28.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	3	23.1	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0
総計	313	11.7	35	1.3	77	2.9	179	6.7	139	5.2	71	2.6	36	1.3

区分 計画機関	清掃事業		農林政		商工		観光		教育		都市計画		建築確認	
	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
農林水産省	0	0.0	16	57.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.6	0	0.0
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
国土交通省	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
都道府県	1	0.3	45	12.3	8	2.2	10	2.7	10	2.7	34	9.3	14	3.8
市・特別区	23	1.5	93	6.1	11	0.7	15	1.0	30	2.0	203	13.3	56	3.7
町	6	1.0	54	9.3	11	1.9	11	1.9	5	0.9	56	9.6	16	2.7
村	0	0.0	6	16.7	0	0.0	0	0.0	1	2.8	1	2.8	0	0.0
独立行政法人	0	0.0	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	11.1	0	0.0
公団	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	15.4	0	0.0
総計	30	1.1	216	8.1	30	1.1	36	1.3	46	1.7	300	11.2	86	3.2

表-98 計画機関別 GIS 導入（予定を含む）業務件数

計画機関	道路管理		河川管理		上水道		下水道		警察		その他		計 件数(件)
	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	1	3.6	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	25.0	28
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2
国土交通省	19	19.0	44	44.0	1	1.0	1	1.0	0	0.0	23	23.0	100
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	62	17.0	38	10.4	11	3.0	14	3.8	1	0.3	38	10.4	365
市・特別区	185	12.1	55	3.6	144	9.4	165	10.8	1	0.1	27	1.8	1,526
町	65	11.2	27	4.6	50	8.6	63	10.8	1	0.2	4	0.7	582
村	4	11.1	0	0.0	5	13.9	4	11.1	0	0.0	1	2.8	36
独立行政法人	2	11.1	4	22.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	33.3	18
公団	4	57.1	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	7
無回答	1	7.7	0	0.0	2	15.4	3	23.1	0	0.0	0	0.0	13
総計	343	12.8	169	6.3	213	7.9	251	9.4	3	0.1	108	4.0	2,681

(2) 計画機関別によるGISで使用する地図データの状況

計画機関がGISで基盤とした地図データの内容について調査し、集計した(表-99)。その結果、基盤とした地図データが「公共測量成果として整備されたデータ」が50.5%、「国土地理院から刊行されているデータ」が14.6%、「民間から販売されているデータ」が15.1%、「その他」19.8%であった。

計画機関別で見ると、市区・町・村の約60%が公共測量成果を使用していること、民間地図データは、都道府県や独立行政法人で、比較的使用比率が高いことが分かった。

また、前回調査との比較では、公共測量地図成果(H13、62.8% H16、50.5%)の比率が低下して、国土地理院刊行地図(H13、10.5% H16、14.6%)や民間販売地図(H13、10.0% H16、15.1%)、その他の地図(H13、16.7% H16、19.8%)の使用比率が高く、多様な地図利用が進行していると思われる。

表-99 計画機関別 GISの使用地図データの状況件数

区分 計画機関	公共測量成果として整備されたデータ		国土地理院から刊行されているデータ		民間から販売されているデータ		その他		計 件数 (件)
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	5	29.4	5	29.4	1	5.9	6	35.3	17
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
国土交通省	29	44.6	21	32.3	5	7.7	10	15.4	65
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	37	26.6	57	41.0	27	19.4	18	12.9	139
市・特別区	228	56.9	19	4.7	71	17.7	83	20.7	401
町	79	64.8	7	5.7	9	7.4	27	22.1	122
村	6	66.7	0	0.0	1	11.1	2	22.2	9
独立行政法人	1	10.0	3	30.0	2	20.0	4	40.0	10
公団	2	66.7	0	0.0	0	0.0	1	33.3	3
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
総計	387	50.5	112	14.6	116	15.1	152	19.8	767

計画機関がGISで基盤とした地図データの内容について、各測量成果、地図縮尺区分ごとに集計した(図-20-1~表-20-4)。

市区・町・村が主に使用している公共測量成果の地図縮尺は、1/500、1/1,000、1/2,500であった。市区では1/10,000の使用も少数ながら見受けられた。

都道府県では広域を管轄することから、主に使用している基本測量成果の地図縮尺は、1/25,000、1/50,000などであった。一部の市区では、1/10,000基本測量成果の使用も少数ながら見受けられた。

民間地図は、都道府県や市区で、1/1,000から1/50,000までの使用が少数ながら見受けられた。

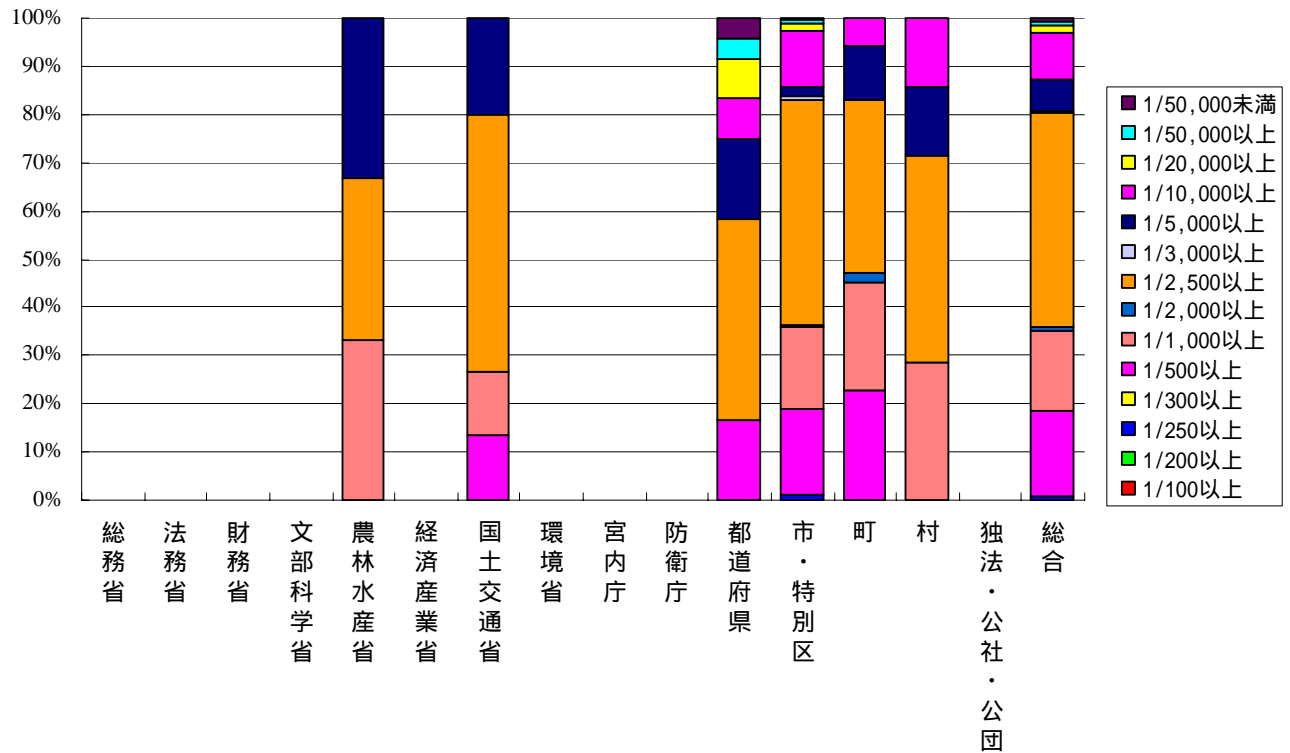


図-20-1 計画機関別 GISの使用地図データの状況（成果種別：公共測量成果）

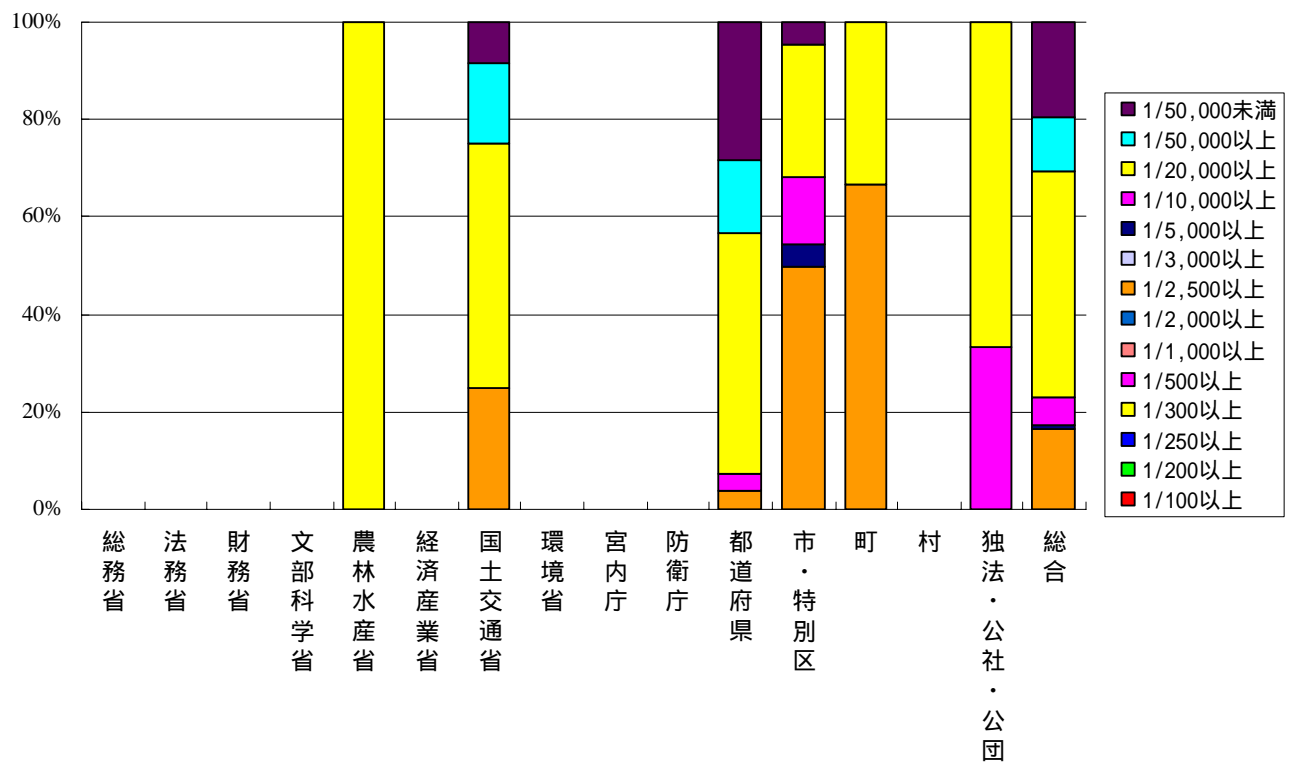


図-20-2 計画機関別 GISの使用地図データの状況（成果種別：国土地理院）

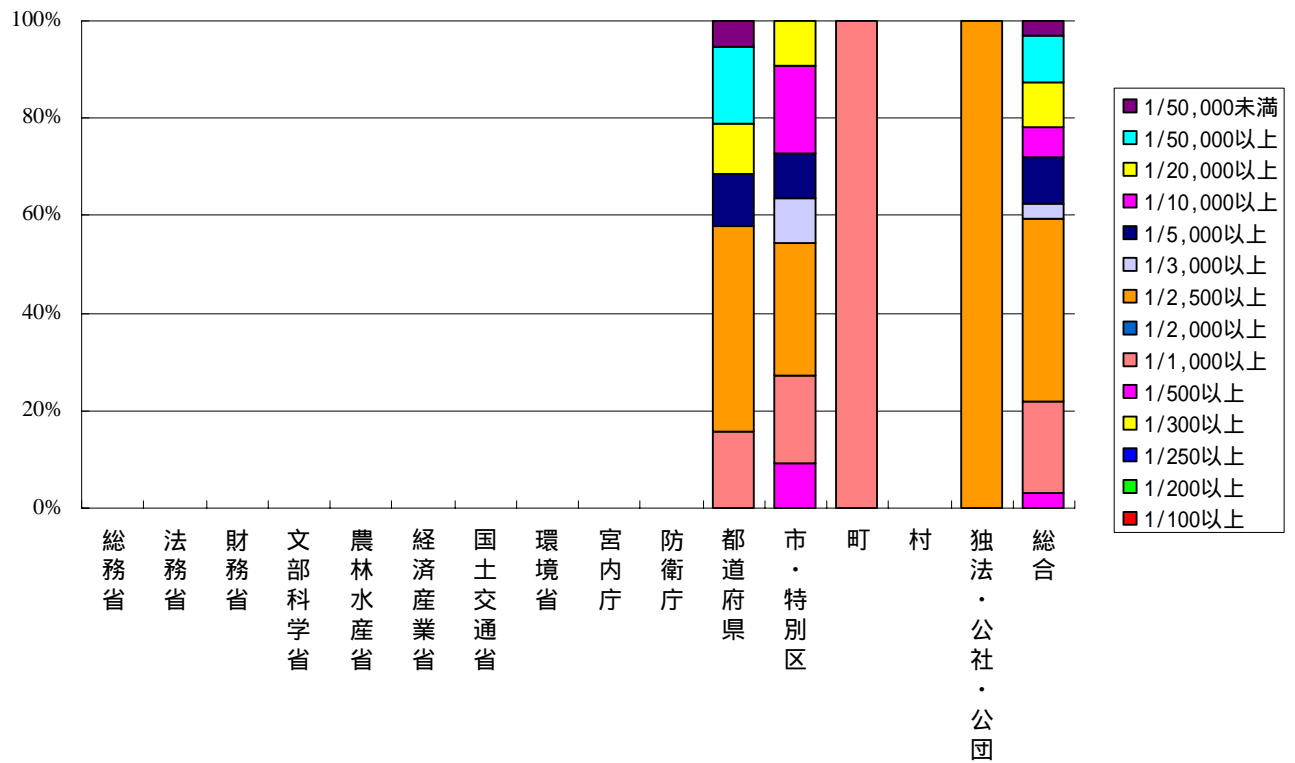


図-20-3 計画機関別 GISの使用地図データの状況 (成果種別：民間)

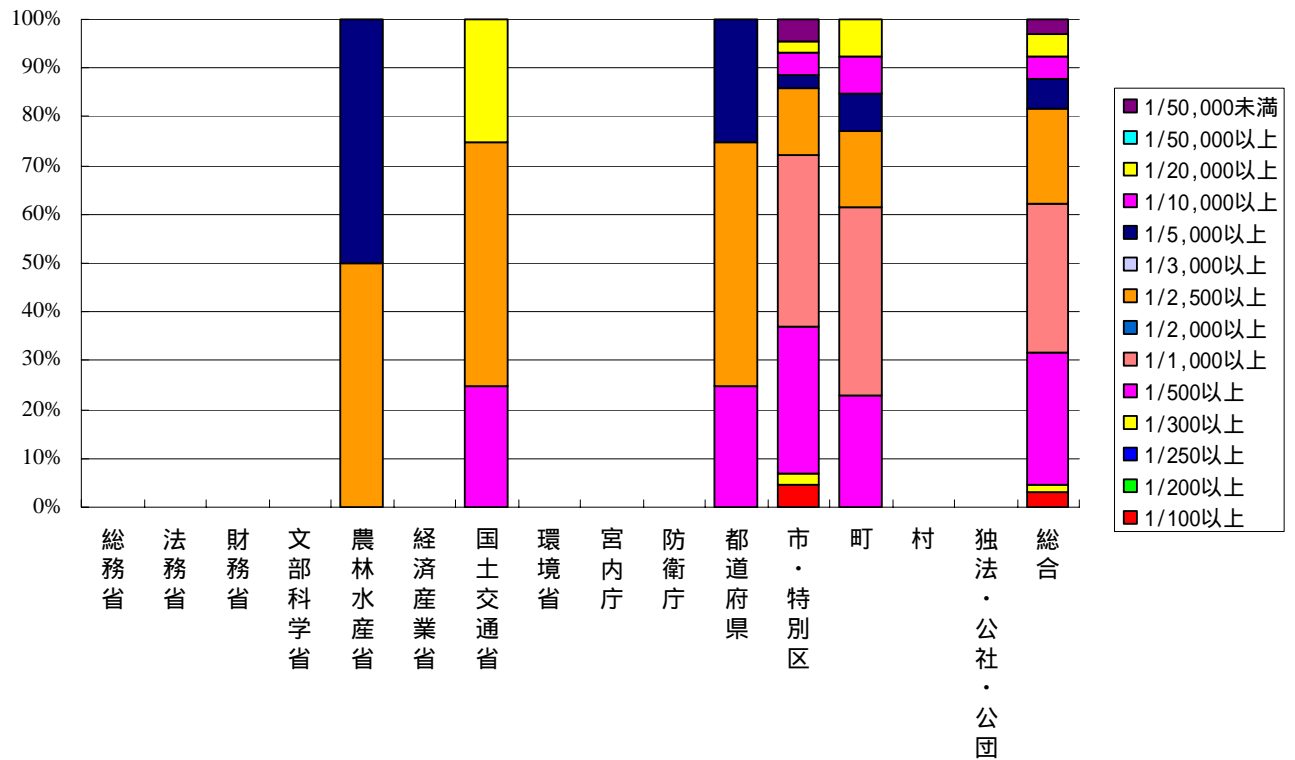


図-20-4 計画機関別 GISの使用地図データの状況 (成果種別：その他)

(3) 計画機関別によるGISの導入効果

GISの構築とコンサルティング、運用への課題、そして導入の効果について調査し、計画機関別に集計した。

計画機関別による技術的な助言・コンサルティング等の状況

GISの構築に際して、技術的な相談や助言・コンサルティングをどこから受けたかについて調査・集計した(表-100)。

その結果、「国土地理院」が3.6%、「地元大学の先生等」が1.0%、「民間のコンサルタント」業者が54.9%、「民間の測量業者または地図調製業者」が29.7%、「団体内の検討機関」が10.8%であった。

全体の84.6%が、民間コンサルタントあるいは測量業者の助言・コンサルティング等によっている。中でも国土交通省、市区・独立行政法人で民間コンサルタント業者の助言・コンサルティング等に依存している比率が高かった(90%強)。

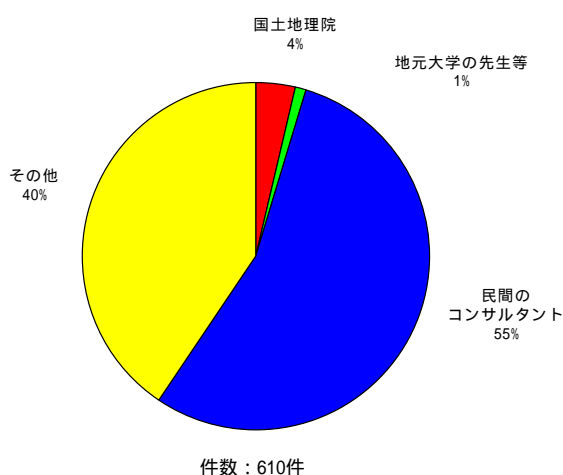


図-21 計画機関別 GIS構築における相談・助言・コンサルティングの依頼先状況(予定を含む)



表-100 計画機関別 GIS構築における相談・助言・コンサルティングの依頼先状況（予定を含む）

区分 計画機関	国土地理院		地元大学の先生等		民間のコンサルタント		民間の測量業者または 地図調製業者		団体内の検討機関		計
	件数（件）	比率（％）	件数（件）	比率（％）	件数（件）	比率（％）	件数（件）	比率（％）	件数（件）	比率（％）	件数（件）
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	2	66.7	3
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	2
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	0	0.0	0	0.0	10	66.7	2	13.3	3	20.0	15
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
国土交通省	3	4.5	0	0.0	58	87.9	3	4.5	2	3.0	66
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	5	5.0	0	0.0	67	67.0	14	14.0	14	14.0	100
市・特別区	5	1.8	5	1.8	131	47.0	106	38.0	32	11.5	279
町	7	6.3	0	0.0	55	49.1	40	35.7	10	8.9	112
村	1	11.1	0	0.0	2	22.2	5	55.6	1	11.1	9
独立行政法人	1	6.7	0	0.0	9	60.0	5	33.3	0	0.0	15
公団	0	0.0	0	0.0	1	25.0	2	50.0	1	25.0	4
無回答	0	0.0	1	25.0	2	50.0	0	0.0	1	25.0	4
総計	22	3.6	6	1.0	335	54.9	181	29.7	66	10.8	610

### 計画機関別による GIS の運用・利用に対する課題

GIS の運用・利用に対する課題について調査・集計した（表-101）。

その結果、課題が特になしが 10.6%に対して、何らかの課題があるとしたものは 85.7%にも達した。

課題があるとしたものの内訳は、比率の高い順に「データの作成、更新費が高価である」が 30.1%、「GIS システムの維持管理費が高価である」が 22.7%、「GIS を運用できる職員が不足している」21.5%、「GIS の使い勝手が悪い」が 11.4%となっている。

利用面での問題よりは、運用や維持管理での問題を上げる計画機関が多い傾向にあった。

データの作成、更新費及びシステムの維持管理費が高価であるとする計画機関の比率は、財政規模が小さくなるに従い（都道府県 市区 町 村）高くなる傾向にあった。

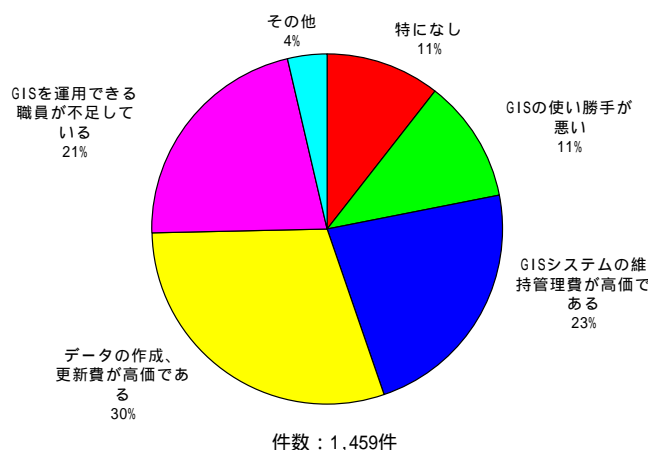


図-22 計画機関別 GIS 利用に対する課題別件数

表-101 計画機関別 GIS利用に対する課題別件数

区分	特になし		GISの使い勝手が悪い		GISシステムの維持管理費が高価である		データの作成、更新費が高価である		GISを運用できる職員が不足している		その他		計
	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	2	50.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	4
財務省	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	2
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	3	7.1	5	11.9	5	11.9	10	23.8	16	38.1	3	7.1	42
経済産業省	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2
国土交通省	18	11.4	29	18.4	24	15.2	41	25.9	40	25.3	6	3.8	158
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	32	11.1	55	19.0	53	18.3	65	22.5	77	26.6	7	2.4	289
市・特別区	59	9.1	60	9.3	164	25.3	218	33.7	119	18.4	27	4.2	647
町	33	12.8	13	5.0	71	27.5	89	34.5	45	17.4	7	2.7	258
村	1	6.7	2	13.3	4	26.7	6	40.0	1	6.7	1	6.7	15
独立行政法人	2	7.1	2	7.1	5	17.9	8	28.6	10	35.7	1	3.6	28
公団	3	30.0	1	10.0	2	20.0	2	20.0	2	20.0	0	0.0	10
無回答	0	0.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	4
総計	155	10.6	167	11.4	331	22.7	439	30.1	313	21.5	54	3.7	1,459

### 計画機関別による GIS 導入効果の状況

既に GIS を導入している機関に対して、導入効果の有無について調査・集計した（表-102）。

その結果、導入効果が見られなかったとする計画機関 1.6%に対して、何らかの効果があったとする計画機関は 96.7%であった。

効果があったとする計画機関を比率の高い順に項目を見てみると、「台帳データ等を組み合わせることで効率的な作業が出来た」が 28.9%、「目的に応じた地理資料作成が出来た」が 26.7%、「住民への窓口サービス、情報公開が容易に出来た」が 17.4%、「庁内で情報（データを含む）共有化することでコストダウンが図れた」が 13.7%、「解析業務に活用することで、政策決定が迅速・効率的に出来た」が 10.0%となっている。それほど顕著ではないが、情報の解析などの高度利用よりは、外部公開や内部的な利用での導入効果が高いとする傾向にあるといえよう。

計画機関別の特徴としては、僅かながら都道府県、市区で「特に効果がなかった」とする計画機関が多かった。

国の機関では、業務内容との兼ね合いからか、「住民への窓口サービス、情報公開が容易に出来た」とする比率が極めて低く、「目的に応じた地理資料作成が出来た」とする比率が高い傾向にあった。

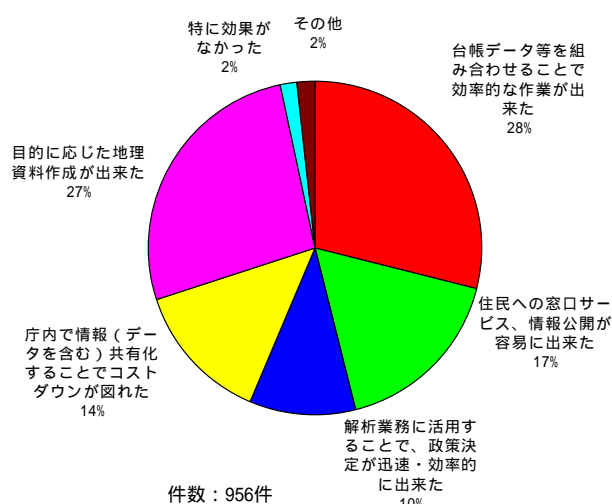


図-23 計画機関別 GIS 導入効果件数

表-102 計画機関別 GIS導入効果件数

区分 計画機関	台帳データ等を組み合わせることで効率的な作業が出来た		住民への窓口サービス、情報公開が容易に出来た		解析業務に活用することで、政策決定が迅速・効率的に出来た		庁内で情報（データを含む）共有化することでコストダウンが図れた		目的に応じた地理資料作成が出来た		特に効果がなかった		その他		計
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	2	14.3	0	0.0	4	28.6	1	7.1	4	28.6	1	7.1	2	14.3	14
経済産業省	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	3
国土交通省	15	28.3	1	1.9	3	5.7	8	15.1	18	34.0	5	9.4	3	5.7	53
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	35	25.9	13	9.6	12	8.9	24	17.8	40	29.6	6	4.4	5	3.7	135
市・特別区	160	29.3	110	20.1	56	10.3	74	13.6	139	25.5	3	0.5	4	0.7	546
町	56	31.3	39	21.8	18	10.1	20	11.2	44	24.6	0	0.0	2	1.1	179
村	2	18.2	2	18.2	2	18.2	2	18.2	3	27.3	0	0.0	0	0.0	11
独立行政法人	2	33.3	0	0.0	0	0.0	1	16.7	3	50.0	0	0.0	0	0.0	6
公団	3	75.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	4
無回答	1	25.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	4
総計	276	28.9	166	17.4	96	10.0	131	13.7	255	26.7	15	1.6	17	1.8	956

### 計画機関別による GIS を導入しない理由

GIS にどのように取り組んでいるかの質問の際に、「関心があるが、未検討である」あるいは「関心がない」と答えた計画機関に、未検討の理由について調査・集計した（表-103）。

その結果を比率の高い順に見てみると、「業務の内容に照らして、不要であるため」が 25.7%、次いで「財源がないため」が 20.2%、「電子地図データ購入・整備に要する費用が高価であり、費用対効果が不明であるため」が 15.6%、「ソフトウェア・システム購入または開発費が高価であり、費用対効果が不明であるため」が 10.1%、「導入への理解が得られない」が 6.0%、「導入しても、システムをメンテナンスしていく余裕がないため」が 4.1%などとなった。

以上を大別すると、何らかの理由で「費用効果が不明」（25.7%）「財源不足」（20.2%）「業務上不要である」（25.7%）に三分される。

計画機関別の特徴として、国の機関や都道府県、独立行政法人では「業務の内容に照らして、不要であるため」の比率が高い。町・村では単に「財源がないため」とした比率が高かった。

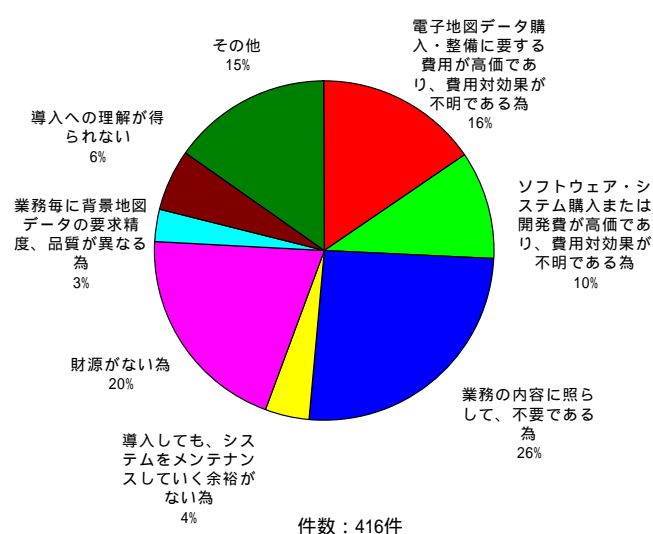


図-24 計画機関別 GIS を導入していない又は未検討の理由

表-103 計画機関別 GISを導入していない又は未検討の理由

区分 計画機関	電子地図データ購入・整備に要する費用が高価であり、費用対効果が不明である為		ソフトウェア・システム購入または開発費が高価であり、費用対効果が不明である為		業務の内容に照らして、不要である為		導入しても、システムをメンテナンスしていく余裕がない為		財源がない為		業務毎に背景地図データの要求精度、品質が異なる為		導入への理解が得られない		その他		計
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	66.7	3.0
財務省	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	2.0
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
農林水産省	3	15.0	1	5.0	8	40.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	4	20.0	20.0
経済産業省	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.0
国土交通省	5	10.9	4	8.7	15	32.6	3	6.5	4	8.7	3	6.5	4	8.7	8	17.4	46.0
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.0
都道府県	11	8.7	17	13.4	46	36.2	5	3.9	10	7.9	3	2.4	9	7.1	26	20.5	127.0
市・特別区	25	25.3	11	11.1	14	14.1	3	3.0	29	29.3	2	2.0	6	6.1	9	9.1	99.0
町	15	18.5	7	8.6	7	8.6	3	3.7	31	38.3	4	4.9	5	6.2	9	11.1	81.0
村	2	25.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	4	50.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	8.0
独立行政法人	4	19.0	0	0.0	12	57.1	0	0.0	3	14.3	0	0.0	0	0.0	2	9.5	21.0
公団	0	0.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	5.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.0
総計	65	15.6	42	10.1	107	25.7	17	4.1	84	20.2	13	3.1	25	6.0	63	15.1	416.0

(4) 計画機関別による地理情報標準の普及状況

国土地理院では、異なる GIS 間にあっても地理情報を自由に交換ができるようにするため、地理情報作成のルールとして「地理情報標準」を作成し普及を図っている。その利用及び普及状況の調査をし、計画機関別に集計した。

どの程度地理情報標準について知っているかについて調査・集計した(表-104)。

その結果、「具体的な内容を知っている」が1.8%、「概要程度は知っている」が11.0%、「存在は知っているが、概要、内容等は知らない」が30.6%、「存在をまったく知らない」が56.6%であった。

「概要、内容は知らない」、「全く知らない」を合わせると、87.2%にもなる低い認知率を示している。

計画機関別の特徴として、市区で「概要程度は知っている」の比率が若干高い(19.7%)傾向にあった。

表-104 計画機関別 地理情報標準の認知率

区分 計画機関	具体的な内容を知っている		概要程度は知っている		存在は知っているが、概要内容等は知らない		存在をまったく知らない		計 件数 (件)
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	0	0.0	7	33.3	14	66.7	21
財務省	1	14.3	1	14.3	2	28.6	3	42.9	7
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	1	1.7	4	6.7	17	28.3	38	63.3	60
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2
国土交通省	1	0.6	11	6.4	47	27.5	112	65.5	171
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	3	60.0	2	40.0	5
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2
都道府県	2	0.5	36	8.9	109	27.0	257	63.6	404
市・特別区	16	3.3	96	19.7	167	34.2	209	42.8	488
町	5	1.9	17	6.3	83	30.7	165	61.1	270
村	0	0.0	2	8.3	12	50.0	10	41.7	24
独立行政法人	0	0.0	1	2.1	16	33.3	31	64.6	48
公団	0	0.0	0	0.0	6	24.0	19	76.0	25
無回答	1	14.3	1	14.3	1	14.3	4	57.1	7
総計	27	1.8	169	11.0	470	30.6	868	56.6	1,534

前項の質問で「具体的な内容を知っている」あるいは、「概要程度は知っている」とした計画機関に、地理情報標準に準拠したデータ整備の有無などについて調査・集計した(表-105)。

その結果、「準拠したデータあり」が16.6%、「準拠したデータなし」が47.0%であった。

地理情報標準に準拠したデータの整備率は、極めて低いといえる。計画機関別特徴としては、国土交通省と市区で整備率が多少高く、また、「わからない」が36.4%あったが、この中には当該機関の状況を把握できていないものと、地理情報標準についての知識が乏しいものも含まれていると思われる。



表-105 計画機関別 地理情報標準に準拠した地図データの整備状況

計画機関	区分	準拠したデータあり		準拠したデータなし		わからない		計
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	
総務省	省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	省	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
財務省	省	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
文部科学省	省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	省	0	0.0	5	62.5	3	37.5	8
経済産業省	省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
国土交通省	省	5	21.7	7	30.4	11	47.8	23
環境省	省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	庁	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
郵政公社	社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	都道府県	8	10.3	28	35.9	42	53.8	78
市・特別区	市・特別区	35	24.3	74	51.4	35	24.3	144
町	町	4	9.1	22	50.0	18	40.9	44
村	村	0	0.0	2	66.7	1	33.3	3
独立行政法人	独立行政法人	0	0.0	4	57.1	3	42.9	7
公団	公団	0	0.0	1	50.0	1	50.0	2
無回答	無回答	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
総計		52	16.6	147	47.0	114	36.4	313

前項の質問に「準拠したデータあり」とした計画機関に、当該データが地理情報標準のどの項目に準拠しているかを調査・集計した(表-106)。

「品質の要求又は評価が準拠している」が23.1%、「データ設計(応用スキーマを作成)が準拠している」が13.2%、「メタデータが準拠している」が19.0%、「データ形式がXML(地理情報標準)である」が12.4%、「データ形式がG-XML(JISX7199)である」が17.4%、「製品仕様書を作成している」が14.9%であった。

計画機関別特徴としては、都道府県で「データ形式がG-XML(JISX7199)である」とした機関、町で「品質の要求又は評価が準拠している」あるいは「メタデータが準拠している」とした機関の比率が高い。「製品仕様書を作成している」とした機関は、市区と国土交通省でやや高い比率を示している。

表-106 計画機関別 地理情報標準に準拠している整備項目の状況

区分 計画機関	品質の要求又は評価が準拠している		データ設計（応用スキーマを作成）が準拠している		メタデータが準拠している		データ形式がXML（地理情報標準）である		データ形式がG-XML（JISX7199）である		製品仕様書を作成している		計
	件数 （件）	比率 （％）	件数 （件）	比率 （％）	件数 （件）	比率 （％）	件数 （件）	比率 （％）	件数 （件）	比率 （％）	件数 （件）	件数 （件）	件数 （件）
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
国土交通省	4	28.6	2	14.3	2	14.3	2	14.3	2	14.3	2	14.3	14
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	2	18.2	0	0.0	1	9.1	0	0.0	7	63.6	1	9.1	11
市・特別区	20	22.0	14	15.4	18	19.8	12	13.2	12	13.2	15	16.5	91
町	2	40.0	0	0.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	5
村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
独立行政法人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
公団	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
総計	28	23.1	16	13.2	23	19.0	15	12.4	21	17.4	18	14.9	121

地理情報標準のメリットについて、どのような効果を期待するかを調査し、集計した（表-107）。

その結果を比率の高い順に見てみると、「他システムのデータと相互利用が容易になる」が 29.8%、「国際標準に準拠し、政府公認の中立的な標準なので安心して使える」が 16.2%、「データ更新の際、既存のさまざまなデータを容易に利用できる」が 15.3%、「データ形式を何にするか迷わなくてすむ」13.6%などとなった。

各計画機関ともに全体値と近い比率を示しており、計画機関ごとに特段の特徴は見受けられなかった。

表-107 計画機関別 地理情報標準の導入効果について

区分 計画機関	国際標準に準拠し、政府公認の中立的な標準なので安心して使える		他システムのデータと相互利用が容易になる		データ形式を何にするか迷わなくてすむ		製品仕様でデータ作成を発注できる		データの内容が製品仕様書により明確になる		データ更新の際、既存のさまざまなデータを容易に利用できる		システム更新の際、既存システムに依存しない		データとシステムを、互いに依存しないで発注できる		計
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	3
財務省	0	0.0	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	10	18.9	16	30.2	9	17.0	4	7.5	1	1.9	8	15.1	2	3.8	0	0.0	50
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
国土交通省	25	15.6	48	30.0	24	15.0	8	5.0	3	1.9	25	15.6	15	9.4	0	0.0	148
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	64	18.3	99	28.4	40	11.5	16	4.6	15	4.3	63	18.1	25	7.2	0	0.0	322
市・特別区	109	15.8	208	30.1	85	12.3	38	5.5	33	4.8	98	14.2	68	9.9	0	0.0	639
町	39	15.2	77	30.0	40	15.6	10	3.9	15	5.8	39	15.2	19	7.4	0	0.0	239
村	5	20.8	7	29.2	5	20.8	1	4.2	2	8.3	1	4.2	1	4.2	0	0.0	22
独立行政法人	6	12.8	16	34.0	10	21.3	3	6.4	0	0.0	8	17.0	3	6.4	0	0.0	46
公団	1	9.1	3	27.3	2	18.2	1	9.1	1	9.1	2	18.2	1	9.1	0	0.0	11
無回答	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2
総計	259	16.2	477	29.8	217	13.6	81	5.1	70	4.4	245	15.3	135	8.4	0	0.0	1,484

地理情報標準の理解と普及を目的としたセミナーへの参加について調査し、集計した（表-108）。

その結果、「ぜひ参加したい」が 12.3%、「参加を検討したい」が 60.2%、「参加したいとは思わない」が 3.5%、「わからない」が 24.0%であった。

前の質問で、地理情報標準について「概要、内容は知らない」、「全く知らない」を合わせると 87.2%あったのだが、セミナーへの積極的な参加を望むものは少ない。参加の可否そのものへも「わからない」とする機関の比率もやや高かった。

計画機関内での GIS を含めた地図測量技術者が減少する中で、こうした専門的な講習会・セミナーを準備し効果を上げることは困難であるといえるのではないかと。

表-108 計画機関別 地理情報標準セミナーの参加について

区分 計画機関	ぜひ参加したい		参加を検討したい		参加したいとは思わない		わからない		計 件数 (件)
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	5	31.3	2	12.5	9	56.3	16
財務省	0	0.0	0	0.0	3	60.0	2	40.0	5
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	9	16.1	28	50.0	4	7.1	15	26.8	56
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2
国土交通省	18	12.6	89	62.2	4	2.8	32	22.4	143
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	1	25.0	0	0.0	3	75.0	4
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
都道府県	29	8.7	209	62.8	9	2.7	86	25.8	333
市・特別区	70	16.4	272	63.8	11	2.6	73	17.1	426
町	28	11.9	132	56.2	9	3.8	66	28.1	235
村	4	18.2	11	50.0	0	0.0	7	31.8	22
独立行政法人	3	7.3	26	63.4	2	4.9	10	24.4	41
公団	0	0.0	11	57.9	1	5.3	7	36.8	19
無回答	0	0.0	2	66.7	1	33.3	0	0.0	3
総計	161	12.3	786	60.2	46	3.5	313	24.0	1,306

(5) 計画機関別による「電子国土 Web システム」の活用状況

国土地理院が配信する地図データと諸機関が数値化した各種の地理情報を Web 上で統合して公開する「電子国土」の活用状況などについて調査し、計画機関別に集計した。

どの程度「電子国土」について知っているかについて調査し、集計した（表-109）。

その結果「知っている」が 37.9%、「知らない」が 62.1%であった。国の機関、独立行政法人、公団などで「知らない」の比率が高い傾向にあった。

表-109 計画機関別 電子国土Webシステムの認知率

区分 計画機関	知っている		知らない		計 件数(件)
	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0
法務省	3	13.6	19	86.4	22
財務省	3	50.0	3	50.0	6
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	16	24.6	49	75.4	65
経済産業省	1	33.3	2	66.7	3
国土交通省	68	38.4	109	61.6	177
環境省	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	2	40.0	3	60.0	5
郵政公社	0	0.0	2	100.0	2
都道府県	137	33.8	268	66.2	405
市・特別区	234	46.6	268	53.4	502
町	105	37.2	177	62.8	282
村	9	37.5	15	62.5	24
独立行政法人	15	29.4	36	70.6	51
公団	2	8.0	23	92.0	25
無回答	2	40.0	3	60.0	5
総計	597	37.9	977	62.1	1,574

前項で、「知っている」とした計画機関に、利用状況について調査し、集計した(表-110)

その結果、「職場で配信者として利用している」、「職場でユーザーとして利用している」、そして「職場以外で利用したことがある」を合わせても13.2%、一方で「利用していない」が86.8%で、圧倒的に利用していないとする回答が高い比率となった。

計画機関別特徴としては、都道府県市区町村で利用している率が多少高い程度であった。

表-110 計画機関別 電子国土Webシステムの利用状況

区分 計画機関	職場で配信者として利用している		職場でユーザーとして利用している		職場以外で利用したことがある		利用していない		計 件数(件)
	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	100.0	5
財務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	100.0	3
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	0	0.0	3	13.6	1	4.5	18	81.8	22
経済産業省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
国土交通省	1	1.3	7	8.9	2	2.5	69	87.3	79
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2
郵政公社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県	1	0.6	13	7.3	8	4.5	156	87.6	178
市・特別区	3	1.1	30	11.2	10	3.7	224	83.9	267
町	0	0.0	9	7.4	1	0.8	111	91.7	121
村	0	0.0	1	10.0	1	10.0	8	80.0	10
独立行政法人	0	0.0	0	0.0	1	5.3	18	94.7	19
公団	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	100.0	5
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2
総計	5	0.7	65	9.1	24	3.4	620	86.8	714

電子国土 Web システムの利用希望状況について調査・集計した（表-111）

その結果、「利用したい」と「内容がわからないので詳細を知りたい」を合わせて 53.9%、残りが消極的意見の「利用してみたいとは思わない」と「わからない」となった。認知していないとの回答が半数ある状況からは、当然の比率かもしれない。

表-111 計画機関別 電子国土 Web システムの利用希望状況

区分 計画機関	利用してみたい		内容がわからないので詳細を知りたい		利用したいとは思わない		わからない		計 件数 (件)
	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	
総務省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省	0	0.0	3	20.0	2	13.3	10	66.7	15
財務省	0	0.0	0	0.0	3	50.0	3	50.0	6
文部科学省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省	14	22.6	24	38.7	4	6.5	20	32.3	62
経済産業省	1	33.3	1	33.3	0	0.0	1	33.3	3
国土交通省	26	16.4	64	40.3	7	4.4	62	39.0	159
環境省	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁	1	20.0	0	0.0	1	20.0	3	60.0	5
郵政公社	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1
都道府県	60	16.9	115	32.5	11	3.1	168	47.5	354
市・特別区	83	17.9	180	38.9	25	5.4	175	37.8	463
町	46	17.8	99	38.2	9	3.5	105	40.5	259
村	6	26.1	7	30.4	1	4.3	9	39.1	23
独立行政法人	13	30.2	8	18.6	2	4.7	20	46.5	43
公団	2	11.8	5	29.4	1	5.9	9	52.9	17
無回答	1	33.3	1	33.3	0	0.0	1	33.3	3
総計	253	17.9	508	36.0	66	4.7	586	41.5	1,413

電子国土 Web システムの背景図として、各計画機関が所有する 1/2,500 などの大縮尺図 DM データを、一定の条件下で貸与できるかについて調査し、集計した（表-112）

ここでも、電子国土 Web システムについて、認知していない回答が半数以上いる状況を加味して判断しなければならないが、「貸与できる」としたものは 17.9%、やや、消極的意見である「利用者が公的機関ならば貸与できる」が 33.1%であった。「貸与できない」とした回答と「その他」を合わせると約半数の 49.0%となった。

表-112 計画機関別 電子国土Webシステムへの大縮尺地図（DMデータ）の貸与の有無

計画機関	区分	貸与できる		利用者が公的機関 ならば貸与できる		貸与できない		その他		計
		件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)
総務省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省		1	7.1	1	7.1	6	42.9	6	42.9	14
財務省		0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	2
文部科学省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省		7	13.7	10	19.6	7	13.7	27	52.9	51
経済産業省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
国土交通省		26	19.8	42	32.1	12	9.2	51	38.9	131
環境省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁		1	25.0	0	0.0	2	50.0	1	25.0	4
郵政公社		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
都道府県		36	13.1	79	28.7	29	10.5	131	47.6	275
市・特別区		81	18.9	157	36.7	37	8.6	153	35.7	428
町		56	24.2	88	38.1	21	9.1	66	28.6	231
村		3	17.6	6	35.3	3	17.6	5	29.4	17
独立行政法人		5	12.8	11	28.2	5	12.8	18	46.2	39
公団		0	0.0	5	38.5	1	7.7	7	53.8	13
無回答		0	0.0	1	33.3	1	33.3	1	33.3	3
総計		216	17.9	400	33.1	125	10.3	468	38.7	1,209

電子国土 Web システムを利用するための講習会への参加について調査し、集計した（表-113）。その結果、「ぜひ参加したい」が 12.7%、「参加を検討したい」が 60.2%、「参加したいとは思わない」が 3.8%、「わからない」が 23.3%であった。

電子国土 Web システムへの認知比率（「知っている」が 37.9%）との関連性は少ない結果であった。さらに、地理情報標準セミナーへの参加意見とほぼ同じ結果が得られている。各計画機関におけるこの種の講習会・セミナーへの対応スタンスに固定的なものがあるのか、あるいは地理情報標準や電子国土 Web システムについての初歩的な認知ができていないものと推測される。



表-113 計画機関別 電子国土Webシステム講習会への参加について

計画機関	区分	ぜひ参加したい		参加を検討したい		参加したいとは思わない		わからない		計 件数 (件)
		件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	
総務省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
法務省		0	0.0	9	50.0	4	22.2	5	27.8	18
財務省		0	0.0	0	0.0	3	75.0	1	25.0	4
文部科学省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
農林水産省		10	16.4	34	55.7	4	6.6	13	21.3	61
経済産業省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2
国土交通省		24	15.1	96	60.4	10	6.3	29	18.2	159
環境省		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宮内庁		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防衛庁		0	0.0	2	40.0	0	0.0	3	60.0	5
郵政公社		0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
都道府県		39	10.6	225	61.1	9	2.4	95	25.8	368
市・特別区		73	15.6	289	61.9	14	3.0	91	19.5	467
町		26	10.1	161	62.4	5	1.9	66	25.6	258
村		5	21.7	10	43.5	1	4.3	7	30.4	23
独立行政法人		5	10.9	27	58.7	2	4.3	12	26.1	46
公団		1	4.5	11	50.0	2	9.1	8	36.4	22
無回答		0	0.0	1	25.0	1	25.0	2	50.0	4
総計		183	12.7	865	60.2	55	3.8	335	23.3	1,438

### 3 - 5 - 3 都道府県別、GISの導入等に関する現況

#### (1) 都道府県別によるGISの導入状況

公共測量成果等の活用という観点からGISの導入状況とその周辺環境について調査し、都道府県別に集計した。

都道府県別によるインターネット及びネットワーク(LAN)接続の状況

インターネット及びネットワーク(LAN)接続の状況について調査し、集計した(表-114)

その結果、「すべてのPCがインターネット接続可能、又は組織のLANに接続されている」の県内比率が高かったのは、富山県(95.2%)、佐賀県(85.7%)、愛媛県(80.8%)、逆に低かったのは奈良県(28.0%)、静岡県(33.3%)、香川県(45.5%)であった。

「インターネット又はLANの接続はされていない」の県内比率が0%(LAN接続されていない市町村が全くない)と回答したのは、神奈川県、福井県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、佐賀県、熊本県、沖縄県、逆にLAN接続されていない市町村の比率が高かったのは、山形県(13.6%)、青森県(12.0%)、奈良県(12.0%)であった。

表-114 都道府県別 インターネット・ネットワーク接続状況件数

区分 都道府県	すべてのPCがインターネット接続可能、又は組織のLANに接続されている		一部のPCがインターネット接続可能であり、ほぼすべて組織内でLANに接続されている		一部のPCのみインターネット接続可能であり、一部LANに接続されている		インターネット又はLANの接続はされていない		計 件数 (件)
	件数 (件)	県内比率 (%)	件数 (件)	県内比率 (%)	件数 (件)	県内比率 (%)	件数 (件)	県内比率 (%)	
北海道	88	67.7	27	20.8	12	9.2	3	2.3	130
青森	16	64.0	5	20.0	1	4.0	3	12.0	25
岩手	17	65.4	5	19.2	1	3.8	3	11.5	26
宮城	21	56.8	12	32.4	3	8.1	1	2.7	37
秋田	22	68.8	6	18.8	3	9.4	1	3.1	32
山形	13	59.1	5	22.7	1	4.5	3	13.6	22
福島	31	77.5	6	15.0	2	5.0	1	2.5	40
茨城	24	66.7	8	22.2	3	8.3	1	2.8	36
栃木	25	64.1	12	30.8	1	2.6	1	2.6	39
群馬	25	56.8	15	34.1	2	4.5	2	4.5	44
埼玉	49	59.8	24	29.3	5	6.1	4	4.9	82
千葉	31	55.4	18	32.1	2	3.6	5	8.9	56
東京都	31	54.4	19	33.3	3	5.3	4	7.0	57
神奈川県	16	72.7	5	22.7	1	4.5	0	0.0	22
新潟	32	74.4	5	11.6	1	2.3	5	11.6	43
富山	20	95.2	0	0.0	1	4.8	0	0.0	21
石川	16	72.7	4	18.2	0	0.0	2	9.1	22
福井	11	68.8	4	25.0	1	6.3	0	0.0	16
山梨	12	75.0	1	6.3	2	12.5	1	6.3	16
長野	23	60.5	8	21.1	3	7.9	4	10.5	38
岐阜	30	78.9	6	15.8	1	2.6	1	2.6	38
静岡県	15	33.3	15	33.3	11	24.4	4	8.9	45
愛知県	37	53.6	21	30.4	5	7.2	6	8.7	69
三重	18	60.0	11	36.7	0	0.0	1	3.3	30
滋賀	9	47.4	6	31.6	2	10.5	2	10.5	19
京都	18	60.0	11	36.7	0	0.0	1	3.3	30
大阪	16	57.1	5	17.9	5	17.9	2	7.1	28
兵庫県	30	75.0	7	17.5	2	5.0	1	2.5	40
奈良	7	28.0	8	32.0	7	28.0	3	12.0	25
和歌山	7	58.3	3	25.0	1	8.3	1	8.3	12
鳥取	12	63.2	6	31.6	1	5.3	0	0.0	19
島根	17	73.9	5	21.7	1	4.3	0	0.0	23
岡山	15	62.5	5	20.8	3	12.5	1	4.2	24
広島	24	64.9	11	29.7	2	5.4	0	0.0	37
山口	17	65.4	8	30.8	1	3.8	0	0.0	26
徳島	10	58.8	4	23.5	2	11.8	1	5.9	17
香川	10	45.5	5	22.7	5	22.7	2	9.1	22
愛媛	21	80.8	3	11.5	1	3.8	1	3.8	26
高知	10	66.7	4	26.7	0	0.0	1	6.7	15
福岡	32	54.2	18	30.5	7	11.9	2	3.4	59
佐賀	12	85.7	2	14.3	0	0.0	0	0.0	14
長崎	16	76.2	2	9.5	1	4.8	2	9.5	21
熊本	12	70.6	4	23.5	1	5.9	0	0.0	17
大分	9	60.0	4	26.7	1	6.7	1	6.7	15
宮崎	24	72.7	4	12.1	3	9.1	2	6.1	33
鹿児島	20	58.8	8	23.5	4	11.8	2	5.9	34
沖縄	9	64.3	5	35.7	0	0.0	0	0.0	14
無回答	1	25.0	1	25.0	0	0.0	2	50.0	4
総計	981	62.9	381	24.4	115	7.4	83	5.3	1,560

#### 都道府県別による GIS への取り組み状況

GIS への取り組み状況について調査し、集計した（表-115）。

その結果、「既に利用している業務がある」の県内比率が高かったのは、長野県（64.7%）、愛媛県（65.4%）、大阪府（54.2%）であり、これらの県は「構築中・整備中」の回答を含めても高い順位であった。逆に低かったのは鳥取県（11.8%）、岡山県（16.7%）、和歌山県（18.2%）であった。

「関心がない」の県内比率が高かったのは、岡山県（22.2%）、神奈川県（15.8%）、石川県（15.8%）であり、「GIS を知らない」の県内比率が高かったのは、大分県（14.3%）、広島県（14.3%）であった。これら「関心がない」「GIS を知らない」ことと、GIS の導入比率との関連性が見られるが、「インターネット及びネットワーク（LAN）への接続の状況」との関連は少なかった。

表-115 都道府県別 GISの取り組み件数

区分	既に利用している業務がある		未稼働だがシステム構築又はデータ整備中である		システム設計等の調査・検討中の業務がある		導入すべきかどうか検討中の業務がある		関心はあるが、未検討である		関心がない		GISを知らない		計
	件数	県内比率	件数	県内比率	件数	県内比率	件数	県内比率	件数	県内比率	件数	県内比率	件数	県内比率	
北海道	35	27.8	5	4.0	1	0.8	8	6.3	64	50.8	5	4.0	8	6.3	126
青森	13	52.0	0	0.0	1	4.0	4	16.0	4	16.0	2	8.0	1	4.0	25
岩手	13	52.0	3	12.0	0	0.0	1	4.0	7	28.0	0	0.0	1	4.0	25
宮城	10	28.6	4	11.4	2	5.7	5	14.3	12	34.3	0	0.0	2	5.7	35
秋田	9	33.3	1	3.7	2	7.4	0	0.0	11	40.7	1	3.7	3	11.1	27
山形	11	50.0	1	4.5	0	0.0	2	9.1	8	36.4	0	0.0	0	0.0	22
福島	12	31.6	0	0.0	1	2.6	6	15.8	18	47.4	0	0.0	1	2.6	38
茨城	15	44.1	0	0.0	1	2.9	4	11.8	11	32.4	0	0.0	3	8.8	34
栃木	13	37.1	5	14.3	0	0.0	1	2.9	13	37.1	2	5.7	1	2.9	35
群馬	8	19.5	5	12.2	0	0.0	4	9.8	24	58.5	0	0.0	0	0.0	41
埼玉	26	32.9	6	7.6	4	5.1	3	3.8	29	36.7	6	7.6	5	6.3	79
千葉	17	33.3	2	3.9	1	2.0	3	5.9	24	47.1	4	7.8	0	0.0	51
東京都	15	29.4	2	3.9	3	5.9	0	0.0	24	47.1	4	7.8	3	5.9	51
神奈川県	10	52.6	3	15.8	1	5.3	0	0.0	2	10.5	3	15.8	0	0.0	19
新潟	18	46.2	0	0.0	4	10.3	3	7.7	10	25.6	2	5.1	2	5.1	39
富山	9	47.4	1	5.3	1	5.3	1	5.3	6	31.6	0	0.0	1	5.3	19
石川	7	36.8	3	15.8	0	0.0	1	5.3	5	26.3	3	15.8	0	0.0	19
福井	3	25.0	0	0.0	2	16.7	0	0.0	6	50.0	0	0.0	1	8.3	12
山梨	6	42.9	1	7.1	1	7.1	2	14.3	3	21.4	0	0.0	1	7.1	14
長野	22	64.7	2	5.9	0	0.0	3	8.8	6	17.6	0	0.0	1	2.9	34
岐阜	19	50.0	3	7.9	1	2.6	3	7.9	12	31.6	0	0.0	0	0.0	38
静岡県	15	35.7	6	14.3	1	2.4	6	14.3	11	26.2	1	2.4	2	4.8	42
愛知県	24	36.9	6	9.2	0	0.0	7	10.8	21	32.3	5	7.7	2	3.1	65
三重	13	48.1	1	3.7	0	0.0	5	18.5	6	22.2	0	0.0	2	7.4	27
滋賀	6	33.3	1	5.6	0	0.0	3	16.7	8	44.4	0	0.0	0	0.0	18
京都	8	30.8	2	7.7	1	3.8	2	7.7	13	50.0	0	0.0	0	0.0	26
大阪	13	54.2	3	12.5	0	0.0	0	0.0	4	16.7	2	8.3	2	8.3	24
兵庫県	11	28.9	1	2.6	0	0.0	0	0.0	21	55.3	2	5.3	3	7.9	38
奈良	5	20.8	2	8.3	1	4.2	1	4.2	13	54.2	0	0.0	2	8.3	24
和歌山	2	18.2	1	9.1	0	0.0	1	9.1	7	63.6	0	0.0	0	0.0	11
鳥取	2	11.8	3	17.6	3	17.6	2	11.8	7	41.2	0	0.0	0	0.0	17
島根	9	42.9	0	0.0	1	4.8	1	4.8	8	38.1	0	0.0	2	9.5	21
岡山	3	16.7	0	0.0	1	5.6	1	5.6	7	38.9	4	22.2	2	11.1	18
広島	7	20.0	1	2.9	3	8.6	3	8.6	13	37.1	3	8.6	5	14.3	35
山口	7	28.0	2	8.0	1	4.0	2	8.0	10	40.0	2	8.0	1	4.0	25
徳島	5	29.4	1	5.9	1	5.9	1	5.9	7	41.2	1	5.9	1	5.9	17
香川	7	36.8	2	10.5	0	0.0	0	0.0	9	47.4	0	0.0	1	5.3	19
愛媛	17	65.4	0	0.0	2	7.7	1	3.8	3	11.5	0	0.0	3	11.5	26
高知	6	37.5	4	25.0	0	0.0	1	6.3	4	25.0	0	0.0	1	6.3	16
福岡	24	42.1	3	5.3	4	7.0	3	5.3	17	29.8	2	3.5	4	7.0	57
佐賀	3	23.1	0	0.0	1	7.7	1	7.7	8	61.5	0	0.0	0	0.0	13
長崎	5	26.3	2	10.5	1	5.3	0	0.0	9	47.4	0	0.0	2	10.5	19
熊本	8	50.0	0	0.0	0	0.0	3	18.8	3	18.8	1	6.3	1	6.3	16
大分	3	21.4	0	0.0	0	0.0	3	21.4	5	35.7	1	7.1	2	14.3	14
宮崎	13	40.6	1	3.1	1	3.1	2	6.3	13	40.6	2	6.3	0	0.0	32
鹿児島	9	29.0	2	6.5	0	0.0	6	19.4	12	38.7	0	0.0	2	6.5	31
沖縄	6	42.9	1	7.1	0	0.0	1	7.1	3	21.4	2	14.3	1	7.1	14
無回答	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	4
総計	523	36.0	93	6.4	48	3.3	110	7.6	542	37.3	61	4.2	75	5.2	1,452

前項で、既に何らかの形で GIS に係わっていると回答した機関に対して、導入の目的とした業務を調査し、都道府県別に集計した（表-116）。

その結果から、以下のような特徴が見られた。

道路管理目的の実施比率は、高知県、東京都、福井県で高かった。

固定資産目的の実施比率は、岡山県、徳島県、香川県で高かった。

農林政目的の実施比率は、島根県、秋田県、滋賀県で高かった。

地籍目的の実施比率は、山口県、鳥取県、沖縄県で高かった。

都市計画目的の実施比率は、東京都、栃木県、岩手県で高かった。

表-116 都道府県別 GIS導入（予定含む）業務件数

区分 都道府県	固定資産		住民登録		管財		地籍		消防防災		環境管理		医療・福祉	
	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)
北海道	19	10.1	5	2.6	8	4.2	22	11.6	6	3.2	4	2.1	5	2.6
青森	6	14.6	0	0.0	0	0.0	6	14.6	3	7.3	2	4.9	0	0.0
岩手	1	3.3	0	0.0	0	0.0	3	10.0	1	3.3	3	10.0	0	0.0
宮城	6	13.0	1	2.2	1	2.2	3	6.5	1	2.2	0	0.0	0	0.0
秋田	3	9.1	1	3.0	0	0.0	0	0.0	3	9.1	0	0.0	0	0.0
山形	3	8.3	0	0.0	1	2.8	3	8.3	2	5.6	0	0.0	0	0.0
福島	7	12.3	0	0.0	2	3.5	2	3.5	1	1.8	0	0.0	0	0.0
茨城	8	11.8	2	2.9	1	1.5	6	8.8	5	7.4	2	2.9	2	2.9
栃木	4	5.6	0	0.0	1	1.4	2	2.8	3	4.2	0	0.0	0	0.0
群馬	6	13.6	0	0.0	0	0.0	3	6.8	2	4.5	3	6.8	1	2.3
埼玉	20	12.9	1	0.6	5	3.2	8	5.2	8	5.2	3	1.9	0	0.0
千葉	9	12.5	0	0.0	3	4.2	2	2.8	8	11.1	4	5.6	1	1.4
東京	5	8.9	0	0.0	0	0.0	6	10.7	4	7.1	1	1.8	2	3.6
神奈川	10	15.4	0	0.0	1	1.5	1	1.5	6	9.2	3	4.6	1	1.5
新潟	9	10.5	2	2.3	3	3.5	6	7.0	4	4.7	4	4.7	2	2.3
富山	5	9.4	1	1.9	2	3.8	2	3.8	3	5.7	2	3.8	2	3.8
石川	6	12.8	0	0.0	2	4.3	3	6.4	3	6.4	2	4.3	1	2.1
福井	2	12.5	0	0.0	0	0.0	1	6.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
山梨	5	8.1	0	0.0	1	1.6	5	8.1	3	4.8	3	4.8	2	3.2
長野	12	13.2	0	0.0	4	4.4	8	8.8	3	3.3	4	4.4	0	0.0
岐阜	11	11.1	0	0.0	3	3.0	2	2.0	4	4.0	0	0.0	0	0.0
静岡	17	13.7	1	0.8	4	3.2	10	8.1	8	6.5	2	1.6	0	0.0
愛知	22	12.6	4	2.3	5	2.9	9	5.1	11	6.3	5	2.9	3	1.7
三重	12	7.8	9	5.8	9	5.8	3	1.9	9	5.8	8	5.2	7	4.5
滋賀	3	13.0	0	0.0	0	0.0	1	4.3	1	4.3	0	0.0	0	0.0
京都	8	16.3	0	0.0	1	2.0	3	6.1	3	6.1	2	4.1	1	2.0
大阪	6	8.2	1	1.4	2	2.7	1	1.4	4	5.5	2	2.7	1	1.4
兵庫	7	14.0	0	0.0	2	4.0	2	4.0	2	4.0	1	2.0	0	0.0
奈良	4	14.8	1	3.7	0	0.0	2	7.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
和歌山	3	10.3	2	6.9	1	3.4	2	6.9	2	6.9	1	3.4	1	3.4
鳥取	3	13.0	0	0.0	0	0.0	4	17.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
島根	3	9.4	0	0.0	0	0.0	2	6.3	3	9.4	3	9.4	0	0.0
岡山	4	28.6	0	0.0	1	7.1	2	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
広島	3	7.1	1	2.4	2	4.8	2	4.8	1	2.4	1	2.4	1	2.4
山口	4	18.2	0	0.0	1	4.5	4	18.2	1	4.5	0	0.0	0	0.0
徳島	3	20.0	0	0.0	2	13.3	1	6.7	0	0.0	1	6.7	0	0.0
香川	6	19.4	0	0.0	1	3.2	4	12.9	1	3.2	0	0.0	0	0.0
愛媛	6	13.0	0	0.0	1	2.2	4	8.7	4	8.7	0	0.0	0	0.0
高知	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0
福岡	15	16.3	1	1.1	1	1.1	4	4.3	5	5.4	1	1.1	0	0.0
佐賀	1	12.5	0	0.0	0	0.0	1	12.5	1	12.5	0	0.0	0	0.0
長崎	3	13.0	0	0.0	1	4.3	1	4.3	1	4.3	0	0.0	1	4.3
熊本	4	7.7	0	0.0	1	1.9	8	15.4	3	5.8	2	3.8	1	1.9
大分	1	7.7	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0
宮崎	6	15.8	0	0.0	0	0.0	4	10.5	1	2.6	0	0.0	0	0.0
鹿児島	6	10.5	2	3.5	3	5.3	5	8.8	2	3.5	1	1.8	1	1.8
沖縄	3	12.0	0	0.0	1	4.0	4	16.0	1	4.0	0	0.0	0	0.0
無回答	3	23.1	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0
総計	313	11.7	35	1.3	77	2.9	179	6.7	139	5.2	71	2.6	36	1.3

表-116 都道府県別 GIS導入（予定含む）業務件数

都道府県	清掃事業		農林政		商工		観光		教育		都市計画		建築確認	
	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)
北海道	2	1.1	25	13.2	4	2.1	4	2.1	2	1.1	16	8.5	3	1.6
青森	0	0.0	6	14.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	7.3	1	2.4
岩手	0	0.0	3	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	16.7	1	3.3
宮城	0	0.0	5	10.9	0	0.0	0	0.0	1	2.2	5	10.9	2	4.3
秋田	0	0.0	6	18.2	0	0.0	0	0.0	1	3.0	4	12.1	3	9.1
山形	0	0.0	5	13.9	0	0.0	1	2.8	0	0.0	3	8.3	0	0.0
福島	0	0.0	6	10.5	0	0.0	0	0.0	1	1.8	5	8.8	1	1.8
茨城	2	2.9	3	4.4	2	2.9	2	2.9	2	2.9	7	10.3	2	2.9
栃木	1	1.4	7	9.9	0	0.0	0	0.0	1	1.4	14	19.7	1	1.4
群馬	0	0.0	5	11.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	15.9	1	2.3
埼玉	1	0.6	6	3.9	0	0.0	0	0.0	3	1.9	21	13.5	6	3.9
千葉	1	1.4	2	2.8	1	1.4	0	0.0	1	1.4	10	13.9	3	4.2
東京	1	1.8	1	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	19.6	3	5.4
神奈川	2	3.1	5	7.7	1	1.5	0	0.0	2	3.1	10	15.4	4	6.2
新潟	3	3.5	8	9.3	1	1.2	1	1.2	1	1.2	6	7.0	3	3.5
富山	3	5.7	3	5.7	0	0.0	2	3.8	3	5.7	4	7.5	2	3.8
石川	1	2.1	7	14.9	1	2.1	1	2.1	0	0.0	5	10.6	1	2.1
福井	0	0.0	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	12.5	1	6.3
山梨	2	3.2	3	4.8	2	3.2	1	1.6	1	1.6	6	9.7	2	3.2
長野	1	1.1	9	9.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	14.3	1	1.1
岐阜	0	0.0	10	10.1	0	0.0	2	2.0	0	0.0	14	14.1	5	5.1
静岡	1	0.8	11	8.9	0	0.0	1	0.8	1	0.8	12	9.7	4	3.2
愛知	3	1.7	7	4.0	3	1.7	3	1.7	6	3.4	27	15.4	6	3.4
三重	0	0.0	4	2.6	7	4.5	7	4.5	9	5.8	14	9.1	9	5.8
滋賀	0	0.0	4	17.4	0	0.0	0	0.0	1	4.3	2	8.7	1	4.3
京都	0	0.0	4	8.2	1	2.0	2	4.1	2	4.1	4	8.2	1	2.0
大阪	1	1.4	4	5.5	1	1.4	2	2.7	3	4.1	9	12.3	2	2.7
兵庫	0	0.0	2	4.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	14.0	4	8.0
奈良	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.7	4	14.8	0	0.0
和歌山	1	3.4	1	3.4	1	3.4	1	3.4	1	3.4	3	10.3	1	3.4
鳥取	0	0.0	2	8.7	1	4.3	0	0.0	0	0.0	2	8.7	0	0.0
島根	0	0.0	6	18.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
岡山	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.1	1	7.1
広島	1	2.4	3	7.1	1	2.4	1	2.4	1	2.4	4	9.5	2	4.8
山口	0	0.0	1	4.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	13.6	0	0.0
徳島	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
香川	0	0.0	3	9.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0
愛媛	0	0.0	3	6.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	8.7	1	2.2
高知	0	0.0	2	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0
福岡	0	0.0	7	7.6	0	0.0	1	1.1	0	0.0	9	9.8	4	4.3
佐賀	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
長崎	1	4.3	3	13.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	8.7	1	4.3
熊本	1	1.9	4	7.7	1	1.9	1	1.9	0	0.0	7	13.5	0	0.0
大分	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	15.4	0	0.0
宮崎	0	0.0	3	7.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	10.5	1	2.6
鹿児島	1	1.8	9	15.8	2	3.5	3	5.3	2	3.5	3	5.3	2	3.5
沖縄	0	0.0	3	12.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	8.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	15.4	0	0.0
総計	30	1.1	216	8.1	30	1.1	36	1.3	46	1.7	300	11.2	86	3.2

表-116 都道府県別 GIS導入(予定含む)業務件数

都道府県	道路管理		河川管理		上水道		下水道		警察		その他		計 件数 (件)
	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	
北海道	17	9.0	13	6.9	13	6.9	17	9.0	0	0.0	4	2.1	189
青森	2	4.9	1	2.4	3	7.3	7	17.1	0	0.0	1	2.4	41
岩手	5	16.7	1	3.3	2	6.7	3	10.0	0	0.0	2	6.7	30
宮城	7	15.2	4	8.7	3	6.5	4	8.7	0	0.0	3	6.5	46
秋田	4	12.1	2	6.1	3	9.1	3	9.1	0	0.0	0	0.0	33
山形	3	8.3	5	13.9	3	8.3	4	11.1	0	0.0	3	8.3	36
福島	14	24.6	3	5.3	5	8.8	8	14.0	0	0.0	2	3.5	57
茨城	4	5.9	5	7.4	4	5.9	5	7.4	1	1.5	3	4.4	68
栃木	14	19.7	12	16.9	4	5.6	7	9.9	0	0.0	0	0.0	71
群馬	3	6.8	3	6.8	2	4.5	3	6.8	0	0.0	5	11.4	44
埼玉	24	15.5	12	7.7	18	11.6	16	10.3	0	0.0	3	1.9	155
千葉	12	16.7	4	5.6	5	6.9	5	6.9	0	0.0	1	1.4	72
東京	14	25.0	3	5.4	0	0.0	2	3.6	0	0.0	3	5.4	56
神奈川	9	13.8	3	4.6	2	3.1	3	4.6	0	0.0	2	3.1	65
新潟	11	12.8	4	4.7	6	7.0	7	8.1	0	0.0	5	5.8	86
富山	7	13.2	2	3.8	4	7.5	5	9.4	0	0.0	1	1.9	53
石川	4	8.5	1	2.1	3	6.4	5	10.6	0	0.0	1	2.1	47
福井	4	25.0	2	12.5	1	6.3	1	6.3	0	0.0	0	0.0	16
山梨	7	11.3	4	6.5	4	6.5	7	11.3	0	0.0	4	6.5	62
長野	10	11.0	3	3.3	9	9.9	12	13.2	0	0.0	2	2.2	91
岐阜	14	14.1	7	7.1	10	10.1	14	14.1	0	0.0	3	3.0	99
静岡	14	11.3	7	5.6	17	13.7	11	8.9	0	0.0	3	2.4	124
愛知	19	10.9	10	5.7	13	7.4	16	9.1	0	0.0	3	1.7	175
三重	13	8.4	11	7.1	14	9.1	7	4.5	0	0.0	2	1.3	154
滋賀	1	4.3	1	4.3	1	4.3	4	17.4	0	0.0	3	13.0	23
京都	5	10.2	2	4.1	4	8.2	4	8.2	0	0.0	2	4.1	49
大阪	11	15.1	7	9.6	7	9.6	6	8.2	0	0.0	3	4.1	73
兵庫	7	14.0	2	4.0	6	12.0	6	12.0	0	0.0	2	4.0	50
奈良	3	11.1	1	3.7	4	14.8	4	14.8	0	0.0	3	11.1	27
和歌山	3	10.3	1	3.4	2	6.9	1	3.4	1	3.4	0	0.0	29
鳥取	3	13.0	1	4.3	2	8.7	2	8.7	0	0.0	3	13.0	23
島根	7	21.9	2	6.3	1	3.1	2	6.3	0	0.0	3	9.4	32
岡山	2	14.3	2	14.3	0	0.0	1	7.1	0	0.0	0	0.0	14
広島	5	11.9	4	9.5	4	9.5	2	4.8	1	2.4	2	4.8	42
山口	4	18.2	0	0.0	1	4.5	1	4.5	0	0.0	2	9.1	22
徳島	2	13.3	2	13.3	0	0.0	1	6.7	0	0.0	2	13.3	15
香川	5	16.1	3	9.7	3	9.7	2	6.5	0	0.0	2	6.5	31
愛媛	3	6.5	1	2.2	3	6.5	4	8.7	0	0.0	12	26.1	46
高知	5	35.7	3	21.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	14.3	14
福岡	17	18.5	4	4.3	8	8.7	12	13.0	0	0.0	3	3.3	92
佐賀	1	12.5	1	12.5	1	12.5	1	12.5	0	0.0	0	0.0	8
長崎	2	8.7	1	4.3	2	8.7	2	8.7	0	0.0	2	8.7	23
熊本	4	7.7	2	3.8	5	9.6	8	15.4	0	0.0	0	0.0	52
大分	1	7.7	2	15.4	2	15.4	2	15.4	0	0.0	0	0.0	13
宮崎	7	18.4	2	5.3	3	7.9	5	13.2	0	0.0	2	5.3	38
鹿児島	6	10.5	3	5.3	2	3.5	2	3.5	0	0.0	2	3.5	57
沖縄	3	12.0	0	0.0	2	8.0	4	16.0	0	0.0	2	8.0	25
無回答	1	7.7	0	0.0	2	15.4	3	23.1	0	0.0	0	0.0	13
総計	343	12.8	169	6.3	213	7.9	251	9.4	3	0.1	108	4.0	2,681



## (2) 都道府県別による GIS で使用する地図データの状況

GIS で基盤とした地図データの内容について調査し、都道府県別に集計した(表-117)。

その結果から、以下のような特徴が見られた。

基盤とした地図データが 100%「公共測量成果として整備されたデータ」であるとしたのは、岡山県、和歌山県、逆に「同データを全く使用しなかった」は佐賀県であった。

「国土地理院から刊行されているデータ」を使用した県内比率が高かったのは、愛媛県(57.9%)、栃木県(50.0%)、逆に「同データを全く使用しなかった」は、神奈川県ほか 8 県があった。

「民間から販売されているデータ」を使用した県内比率が特に高かったのは、佐賀県(75.0%)、逆に「同データを全く使用しなかった」は、山形県ほか 10 県があった。

「その他」の地図データを使用した県内比率が特に高かったのは、山梨県(42.9%)であった。

前回調査との比較では、各都道府県とも多様な地図利用が進行している。その状況は次のことから明らかである。

基盤とした地図データが 100%「公共測量成果として整備されたデータ」であるとした県が減少した(H13、7 県 H16、2 県)。さらに、「国土地理院から刊行されているデータ」を全く使用しなかった県(H13、19 県 H16、10 県)、「民間から販売されているデータ」を全く使用しなかった県(H13、25 県 H16、10 県)、「その他」の地図データを全く使用しなかった県がそれぞれ減少した(H13、14 県 H16、10 県)。

表-117 都道府県別 GIS使用地図データ状況件数

区分 都道府県	公共測量成果 として整備さ れたデータ		国土地理院か ら刊行されて いるデータ		民間から販売 されている データ		その他		計
	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)
北海道	24	52.2	6	13.0	5	10.9	11	23.9	46
青森	7	46.7	2	13.3	3	20.0	3	20.0	15
岩手	3	17.6	5	29.4	6	35.3	3	17.6	17
宮城	3	27.3	2	18.2	3	27.3	3	27.3	11
秋田	2	10.5	7	36.8	5	26.3	5	26.3	19
山形	11	68.8	5	31.3	0	0.0	0	0.0	16
福島	6	30.0	1	5.0	2	10.0	11	55.0	20
茨城	9	50.0	3	16.7	1	5.6	5	27.8	18
栃木	6	27.3	11	50.0	3	13.6	2	9.1	22
群馬	5	45.5	3	27.3	0	0.0	3	27.3	11
埼玉	22	55.0	1	2.5	6	15.0	11	27.5	40
千葉	13	48.1	3	11.1	8	29.6	3	11.1	27
東京都	17	50.0	2	5.9	8	23.5	7	20.6	34
神奈川県	12	75.0	0	0.0	2	12.5	2	12.5	16
新潟	9	40.9	6	27.3	3	13.6	4	18.2	22
富山	3	27.3	0	0.0	4	36.4	4	36.4	11
石川	7	50.0	1	7.1	2	14.3	4	28.6	14
福井	2	66.7	0	0.0	0	0.0	1	33.3	3
山梨	5	35.7	1	7.1	2	14.3	6	42.9	14
長野	24	80.0	1	3.3	1	3.3	4	13.3	30
岐阜	18	51.4	5	14.3	1	2.9	11	31.4	35
静岡県	15	44.1	5	14.7	9	26.5	5	14.7	34
愛知県	23	63.9	3	8.3	3	8.3	7	19.4	36
三重	13	92.9	0	0.0	0	0.0	1	7.1	14
滋賀	5	41.7	2	16.7	1	8.3	4	33.3	12
京都	7	53.8	1	7.7	3	23.1	2	15.4	13
大阪	11	42.3	4	15.4	6	23.1	5	19.2	26
兵庫県	12	80.0	2	13.3	0	0.0	1	6.7	15
奈良	4	57.1	1	14.3	2	28.6	0	0.0	7
和歌山	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
鳥取	4	57.1	1	14.3	0	0.0	2	28.6	7
島根	6	42.9	4	28.6	3	21.4	1	7.1	14
岡山	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
広島	3	50.0	2	33.3	1	16.7	0	0.0	6
山口	5	71.4	0	0.0	2	28.6	0	0.0	7
徳島	4	57.1	0	0.0	1	14.3	2	28.6	7
香川	8	80.0	0	0.0	1	10.0	1	10.0	10
愛媛	7	36.8	11	57.9	1	5.3	0	0.0	19
高知	2	50.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	4
福岡	13	54.2	1	4.2	4	16.7	6	25.0	24
佐賀	0	0.0	1	25.0	3	75.0	0	0.0	4
長崎	5	50.0	0	0.0	4	40.0	1	10.0	10
熊本	8	53.3	3	20.0	2	13.3	2	13.3	15
大分	2	50.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	4
宮崎	9	75.0	1	8.3	0	0.0	2	16.7	12
鹿児島	4	40.0	1	10.0	2	20.0	3	30.0	10
沖縄	4	36.4	3	27.3	2	18.2	2	18.2	11
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
総計	387	50.5	112	14.6	116	15.1	152	19.8	767

GISで基盤とした地図データの内容について、都道府県別に各測量成果、地図縮尺区分ごとに集計した（表-118-1～3）。

都道府県別の特徴は、前述のとおりであり、公共測量成果を使用している都道府県では地図縮尺 1/500、1/1,000、1/2,500 を、基本測量成果を使用している都道府県では 1/25,000、1/50,000 を、民間地図使用では、1/1,000 から 1/50,000 までの使用が少数ながら見受けられた。

表-118-1 都道府県別 GISの使用地図データの状況（縮尺:公共測量成果）

事業量 都道府県	1/100 以上	1/200 以上	1/250 以上	1/300 以上	1/500 以上	1/1千 以上	1/2千 以上	1/2500 以上	1/3千 以上	1/5千 以上	1/1万 以上	1/2万 以上	1/5万 以上	1/5万 未満	回答数
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
北海道	0	0	0	0	4	4	1	8	0	6	2	0	0	0	25
青森	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	6
岩手	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮城	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	0	0	0	0	0	1	0	4	0	2	1	2	1	1	12
福島	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3
茨城	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	0	0	0	6
栃木	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
群馬	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	5
埼玉	0	0	0	0	3	2	0	6	0	0	2	0	0	0	13
千葉	0	0	0	0	2	0	0	6	0	0	1	1	0	0	10
東京都	0	0	1	0	3	2	0	5	0	0	1	0	0	0	12
神奈川県	0	0	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	7
新潟	0	0	0	0	2	0	0	3	0	1	0	0	0	0	6
富山	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
石川	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	5
福井	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山梨	0	0	0	0	5	0	0	2	0	1	0	0	0	0	8
長野	0	0	0	0	3	1	0	10	0	1	4	1	0	0	20
岐阜	0	0	0	0	0	2	0	7	0	0	1	0	0	0	10
静岡県	0	0	0	0	2	2	0	6	0	2	2	0	0	0	14
愛知県	0	0	0	0	2	5	0	14	0	0	1	0	0	0	22
三重	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	1	0	0	0	6
滋賀	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	1	1	1	8
京都	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
大阪	0	0	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	6
兵庫県	0	0	0	0	1	2	0	3	0	0	1	0	0	0	7
奈良	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
和歌山	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
島根	0	0	1	0	1	1	0	6	0	3	0	0	0	0	12
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
徳島	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
香川	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
愛媛	0	0	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	6
高知	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福岡	0	0	0	0	1	2	0	6	0	0	3	0	0	0	12
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
熊本	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	4
大分	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
宮崎	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
鹿児島	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
沖縄	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	2	0	51	48	2	127	1	19	27	5	2	2	286

表-118-2 都道府県別 GISの使用地図データの状況(縮尺:国土地理院)

事業量 都道府県	1/100 以上	1/200 以上	1/250 以上	1/300 以上	1/500 以上	1/1千 以上	1/2千 以上	1/2500 以上	1/3千 以上	1/5千 以上	1/1万 以上	1/2万 以上	1/5万 以上	1/5万 未満	回答数
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	2	7
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
秋田	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	3	8
山形	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	1	1	6
福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	7	7	22
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
埼玉	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
千葉	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	4
東京都	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	5
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	4
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	4
三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
大阪	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	4
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
奈良	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	8
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1	0	6
大分	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	21	0	1	7	59	14	25	127

表-118-3 都道府県別 GISの使用地図データの状況(縮尺:民間)

事業量 都道府県	1/100 以上	1/200 以上	1/250 以上	1/300 以上	1/500 以上	1/1千 以上	1/2千 以上	1/2500 以上	1/3千 以上	1/5千 以上	1/1万 以上	1/2万 以上	1/5万 以上	1/5万 未満	回答数
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	4	0	1	0	1	0	2	3	1	12
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
千葉	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
東京都	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
愛媛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	1	6	0	12	1	3	2	3	3	1	32

表-118-4 都道府県別 GISの使用地図データの状況(縮尺:その他)

事業量 都道府県	1/100 以上	1/200 以上	1/250 以上	1/300 以上	1/500 以上	1/1千 以上	1/2千 以上	1/2500 以上	1/3千 以上	1/5千 以上	1/1万 以上	1/2万 以上	1/5万 以上	1/5万 未満	回答数
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
北海道	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
茨城	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
栃木	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
千葉	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
東京都	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
神奈川県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
新潟	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
富山	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
石川	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	2	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	2	10
長野	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
岐阜	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
静岡県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
愛知県	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
三重	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
滋賀	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	5
京都	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
大阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
福岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
大分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	0	0	1	18	20	0	13	0	4	3	3	0	2	66

### (3) 都道府県別による GIS の導入効果

GIS の構築とコンサルティング、運用への課題及び導入の効果について調査し、都道府県別に集計した。

都道府県別による技術的な助言・コンサルティング等の状況

技術的な相談や助言・コンサルティングをどこから受けたかについて調査し、都道府県別に集計した(表-119)。

その結果から、以下のような特徴が見られた。

「国土地理院」とした比率が高かったのは、島根県、鹿児島県であった。

「地元大学の先生等」とした回答が、石川県、富山県、秋田県、兵庫県で、それぞれ1件あった。

「民間のコンサルタント」とした比率が高かったのは愛媛県、岩手県、兵庫県、長崎県、宮崎県、高知県であった。

「民間の測量業者または地図調製業者」とした比率が高かったのは神奈川県、茨城県、東京都、佐賀県であった。



表-119 都道府県別 GIS構築に係る依頼先（希望先含む）状況件数

区分 都道府県	国土地理院		地元大学の先生等		民間のコンサルタント		民間の測量業者または地図調製業者		団体内の検討機関		計
	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)
北海道	2	4.4	0	0.0	21	46.7	16	35.6	6	13.3	45
青森	0	0.0	0	0.0	4	36.4	5	45.5	2	18.2	11
岩手	0	0.0	0	0.0	9	81.8	1	9.1	1	9.1	11
宮城	1	8.3	0	0.0	7	58.3	3	25.0	1	8.3	12
秋田	1	10.0	1	10.0	7	70.0	0	0.0	1	10.0	10
山形	0	0.0	0	0.0	8	72.7	1	9.1	2	18.2	11
福島	0	0.0	0	0.0	5	45.5	4	36.4	2	18.2	11
茨城	1	7.1	0	0.0	4	28.6	9	64.3	0	0.0	14
栃木	0	0.0	0	0.0	11	68.8	2	12.5	3	18.8	16
群馬	1	8.3	0	0.0	7	58.3	2	16.7	2	16.7	12
埼玉	0	0.0	0	0.0	12	42.9	16	57.1	0	0.0	28
千葉	2	12.5	0	0.0	4	25.0	7	43.8	3	18.8	16
東京都	1	5.0	0	0.0	7	35.0	12	60.0	0	0.0	20
神奈川県	0	0.0	0	0.0	4	30.8	9	69.2	0	0.0	13
新潟	1	5.3	0	0.0	12	63.2	6	31.6	0	0.0	19
富山	1	14.3	1	14.3	2	28.6	2	28.6	1	14.3	7
石川	0	0.0	1	16.7	4	66.7	1	16.7	0	0.0	6
福井	0	0.0	0	0.0	3	60.0	1	20.0	1	20.0	5
山梨	0	0.0	0	0.0	3	42.9	2	28.6	2	28.6	7
長野	0	0.0	0	0.0	9	42.9	9	42.9	3	14.3	21
岐阜	0	0.0	0	0.0	11	55.0	5	25.0	4	20.0	20
静岡県	1	4.2	0	0.0	10	41.7	9	37.5	4	16.7	24
愛知県	0	0.0	1	2.6	24	63.2	10	26.3	3	7.9	38
三重	0	0.0	0	0.0	9	64.3	2	14.3	3	21.4	14
滋賀	0	0.0	0	0.0	5	41.7	7	58.3	0	0.0	12
京都	0	0.0	0	0.0	5	45.5	4	36.4	2	18.2	11
大阪	1	7.1	0	0.0	8	57.1	3	21.4	2	14.3	14
兵庫	0	0.0	1	10.0	8	80.0	1	10.0	0	0.0	10
奈良	0	0.0	0	0.0	5	62.5	0	0.0	3	37.5	8
和歌山	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
鳥取	0	0.0	0	0.0	6	66.7	1	11.1	2	22.2	9
島根	3	33.3	0	0.0	3	33.3	2	22.2	1	11.1	9
岡山	1	16.7	0	0.0	4	66.7	1	16.7	0	0.0	6
広島	1	11.1	0	0.0	6	66.7	2	22.2	0	0.0	9
山口	0	0.0	0	0.0	5	45.5	4	36.4	2	18.2	11
徳島	0	0.0	0	0.0	5	83.3	1	16.7	0	0.0	6
香川	0	0.0	0	0.0	6	66.7	2	22.2	1	11.1	9
愛媛	0	0.0	0	0.0	15	93.8	1	6.3	0	0.0	16
高知	0	0.0	0	0.0	4	80.0	0	0.0	1	20.0	5
福岡	1	3.7	0	0.0	17	63.0	8	29.6	1	3.7	27
佐賀	0	0.0	0	0.0	1	20.0	3	60.0	1	20.0	5
長崎	0	0.0	0	0.0	5	83.3	1	16.7	0	0.0	6
熊本	0	0.0	0	0.0	4	66.7	1	16.7	1	16.7	6
大分	0	0.0	0	0.0	3	60.0	1	20.0	1	20.0	5
宮崎	0	0.0	0	0.0	8	80.0	1	10.0	1	10.0	10
鹿児島	3	23.1	0	0.0	8	61.5	0	0.0	2	15.4	13
沖縄	0	0.0	0	0.0	5	71.4	2	28.6	0	0.0	7
無回答	0	0.0	1	25.0	2	50.0	0	0.0	1	25.0	4
総計	22	3.6	6	1.0	335	54.9	181	29.7	66	10.8	610

#### 都道府県別による GIS の運用・利用に対する課題

GIS の運用・利用に対する課題について調査し、都道府県別に集計した（表-120）。

その結果、以下のような特徴が見られた。

「特になし」の比率が高いのは、徳島県、宮崎県、島根県など、「GIS の使い勝手が悪い」の比率が高いのは、愛媛県、高知県、富山県、栃木県などであった。この二つの意見には、県ごとの認識にばらつきがあった。

「GIS システムの維持管理費が高価である」とした比率が高かったのは、岡山県、神奈川県、広島県、大阪府など、「データの作成、更新費が高価である」とした比率が高かったのは、鳥取県、宮城県、福岡県など、「GIS を運用できる職員が不足している」とした比率が高かったのは、大分県、沖縄県、栃木県などであった。この三つの意見には賛同が多く、県ごとの認識にばらつきは少なかった。

表-120 都道府県別 GIS利用に対する課題別件数

区分 都道府県	特になし		GISの使い勝手 が悪い		GISシステムの維 持管理費が高価 である		データの作 成、更新費が 高価である		GISを運用でき る職員が不足 している		その他		計
	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)
北海道	16	17.0	5	5.3	24	25.5	31	33.0	16	17.0	2	2.1	94
青森	5	20.0	5	20.0	6	24.0	5	20.0	4	16.0	0	0.0	25
岩手	1	5.6	2	11.1	1	5.6	7	38.9	5	27.8	2	11.1	18
宮城	5	17.9	1	3.6	7	25.0	11	39.3	4	14.3	0	0.0	28
秋田	1	3.2	6	19.4	7	22.6	10	32.3	7	22.6	0	0.0	31
山形	3	10.7	4	14.3	5	17.9	7	25.0	5	17.9	4	14.3	28
福島	4	10.5	5	13.2	7	18.4	11	28.9	8	21.1	3	7.9	38
茨城	5	15.2	3	9.1	6	18.2	9	27.3	8	24.2	2	6.1	33
栃木	0	0.0	10	22.7	10	22.7	8	18.2	15	34.1	1	2.3	44
群馬	5	14.3	3	8.6	8	22.9	12	34.3	6	17.1	1	2.9	35
埼玉	6	7.3	10	12.2	22	26.8	22	26.8	17	20.7	5	6.1	82
千葉	4	8.3	7	14.6	9	18.8	13	27.1	14	29.2	1	2.1	48
東京	5	9.6	3	5.8	11	21.2	14	26.9	13	25.0	6	11.5	52
神奈川	1	3.3	4	13.3	10	33.3	9	30.0	6	20.0	0	0.0	30
新潟	7	17.5	4	10.0	10	25.0	14	35.0	4	10.0	1	2.5	40
富山	0	0.0	4	22.2	4	22.2	7	38.9	3	16.7	0	0.0	18
石川	2	9.5	3	14.3	3	14.3	6	28.6	6	28.6	1	4.8	21
福井	1	6.3	2	12.5	4	25.0	6	37.5	3	18.8	0	0.0	16
山梨	1	5.3	3	15.8	6	31.6	5	26.3	3	15.8	1	5.3	19
長野	5	10.2	7	14.3	10	20.4	15	30.6	10	20.4	2	4.1	49
岐阜	3	6.0	6	12.0	11	22.0	16	32.0	10	20.0	4	8.0	50
静岡	4	6.3	7	10.9	16	25.0	20	31.3	13	20.3	4	6.3	64
愛知	10	14.1	6	8.5	14	19.7	23	32.4	16	22.5	2	2.8	71
三重	3	7.9	4	10.5	10	26.3	11	28.9	10	26.3	0	0.0	38
滋賀	0	0.0	2	8.0	7	28.0	9	36.0	7	28.0	0	0.0	25
京都	3	11.1	3	11.1	8	29.6	5	18.5	8	29.6	0	0.0	27
大阪	2	6.7	4	13.3	9	30.0	8	26.7	6	20.0	1	3.3	30
兵庫	1	4.0	4	16.0	7	28.0	9	36.0	4	16.0	0	0.0	25
奈良	3	25.0	2	16.7	3	25.0	3	25.0	1	8.3	0	0.0	12
和歌山	0	0.0	0	0.0	1	20.0	2	40.0	2	40.0	0	0.0	5
鳥取	2	16.7	0	0.0	2	16.7	5	41.7	3	25.0	0	0.0	12
島根	5	26.3	0	0.0	2	10.5	7	36.8	4	21.1	1	5.3	19
岡山	1	9.1	0	0.0	4	36.4	3	27.3	3	27.3	0	0.0	11
広島	4	13.3	2	6.7	9	30.0	9	30.0	5	16.7	1	3.3	30
山口	5	27.8	0	0.0	4	22.2	6	33.3	2	11.1	1	5.6	18
徳島	4	33.3	1	8.3	1	8.3	4	33.3	2	16.7	0	0.0	12
香川	3	18.8	1	6.3	3	18.8	4	25.0	5	31.3	0	0.0	16
愛媛	1	3.8	13	50.0	4	15.4	6	23.1	2	7.7	0	0.0	26
高知	2	10.5	4	21.1	3	15.8	5	26.3	4	21.1	1	5.3	19
福岡	3	5.7	2	3.8	11	20.8	20	37.7	15	28.3	2	3.8	53
佐賀	2	16.7	0	0.0	3	25.0	3	25.0	3	25.0	1	8.3	12
長崎	3	13.6	3	13.6	4	18.2	7	31.8	4	18.2	1	4.5	22
熊本	0	0.0	2	10.0	5	25.0	6	30.0	6	30.0	1	5.0	20
大分	0	0.0	3	17.6	2	11.8	5	29.4	7	41.2	0	0.0	17
宮崎	7	29.2	2	8.3	5	20.8	6	25.0	3	12.5	1	4.2	24
鹿児島	5	14.7	3	8.8	10	29.4	11	32.4	5	14.7	0	0.0	34
沖縄	2	14.3	2	14.3	1	7.1	4	28.6	5	35.7	0	0.0	14
無回答	0	0.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	4
総計	155	10.6	167	11.4	331	22.7	439	30.1	313	21.5	54	3.7	1,459

#### 都道府県別による GIS 導入効果の状況

GIS の導入効果の有無について調査し、都道府県別に集計した（表-121）。

その結果から、以下のような特徴が見られた。

「台帳データ等を組み合わせることで効率的な作業が出来た」の比率が高かったのは、山口県、兵庫県、宮崎県、奈良県、富山県などであった。

「住民への窓口サービス、情報公開が容易に出来た」の比率が高かったのは、岡山県、埼玉県などであった。

「解析業務に活用することで、政策決定が迅速・効率的に出来た」の比率が高かったのは、石川県、京都府などであった。

「庁内で情報（データを含む）共有化することでコストダウンが図れた」の比率が高かったのは、沖縄県、佐賀県、秋田県などであった。

「目的に応じた地理資料作成が出来た」の比率が高かったのは、福井県、山形県などであった。

一方で「特に効果がなかった」の比率が高かったのは、回答数は少数だが高知県と秋田県であった。GIS 導入業務と整備中を加味した高知県と秋田県の比率は、平均値に近いものであった。しかし、全般的には GIS 導入業務比率が高い県では、効果があったとする比率が高い傾向にあった。

表-121 都道府県別 GIS導入効果件数

区分 都道府県	台帳データ等を組み合わせることで効率的な作業が出来た		住民への窓口サービス、情報公開が容易に出来た		解析業務に活用することで、政策決定が迅速・効率的に出来た		庁内で情報（データを含む）共有化することでコストダウンが図れた		目的に応じた地理資料作成が出来た		特に効果がなかった		その他		計
	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)	県内 比率 (%)	件数 (件)
北海道	18	28.6	11	17.5	8	12.7	7	11.1	18	28.6	1	1.6	0	0.0	63
青森	5	31.3	3	18.8	1	6.3	1	6.3	4	25.0	0	0.0	2	12.5	16
岩手	7	31.8	2	9.1	3	13.6	4	18.2	6	27.3	0	0.0	0	0.0	22
宮城	5	27.8	2	11.1	2	11.1	3	16.7	5	27.8	0	0.0	1	5.6	18
秋田	2	12.5	2	12.5	1	6.3	4	25.0	5	31.3	2	12.5	0	0.0	16
山形	4	20.0	4	20.0	2	10.0	2	10.0	8	40.0	0	0.0	0	0.0	20
福島	7	38.9	1	5.6	2	11.1	2	11.1	6	33.3	0	0.0	0	0.0	18
茨城	7	33.3	4	19.0	1	4.8	3	14.3	4	19.0	0	0.0	2	9.5	21
栃木	5	31.3	1	6.3	2	12.5	3	18.8	5	31.3	0	0.0	0	0.0	16
群馬	6	28.6	4	19.0	2	9.5	2	9.5	6	28.6	1	4.8	0	0.0	21
埼玉	11	28.2	13	33.3	1	2.6	5	12.8	8	20.5	1	2.6	0	0.0	39
千葉	5	19.2	6	23.1	3	11.5	4	15.4	6	23.1	1	3.8	1	3.8	26
東京都	10	24.4	10	24.4	3	7.3	4	9.8	14	34.1	0	0.0	0	0.0	41
神奈川県	6	19.4	6	19.4	3	9.7	6	19.4	9	29.0	0	0.0	1	3.2	31
新潟	12	36.4	4	12.1	4	12.1	3	9.1	9	27.3	0	0.0	1	3.0	33
富山	5	41.7	1	8.3	0	0.0	2	16.7	4	33.3	0	0.0	0	0.0	12
石川	4	26.7	0	0.0	5	33.3	2	13.3	4	26.7	0	0.0	0	0.0	15
福井	1	20.0	0	0.0	1	20.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	0	0.0	5
山梨	3	21.4	2	14.3	1	7.1	3	21.4	5	35.7	0	0.0	0	0.0	14
長野	8	21.1	9	23.7	5	13.2	5	13.2	10	26.3	0	0.0	1	2.6	38
岐阜	10	32.3	3	9.7	3	9.7	7	22.6	7	22.6	0	0.0	1	3.2	31
静岡県	13	31.7	8	19.5	3	7.3	5	12.2	11	26.8	1	2.4	0	0.0	41
愛知県	11	25.0	9	20.5	4	9.1	6	13.6	13	29.5	1	2.3	0	0.0	44
三重	10	32.3	7	22.6	1	3.2	3	9.7	10	32.3	0	0.0	0	0.0	31
滋賀	3	27.3	2	18.2	0	0.0	2	18.2	2	18.2	1	9.1	1	9.1	11
京都	5	29.4	3	17.6	4	23.5	1	5.9	4	23.5	0	0.0	0	0.0	17
大阪	8	26.7	6	20.0	2	6.7	4	13.3	10	33.3	0	0.0	0	0.0	30
兵庫県	10	43.5	3	13.0	0	0.0	4	17.4	5	21.7	0	0.0	1	4.3	23
奈良	3	42.9	1	14.3	0	0.0	1	14.3	2	28.6	0	0.0	0	0.0	7
和歌山	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
鳥取	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
島根	6	20.7	5	17.2	5	17.2	5	17.2	7	24.1	0	0.0	1	3.4	29
岡山	2	33.3	2	33.3	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	1	16.7	6
広島	2	28.6	0	0.0	1	14.3	1	14.3	2	28.6	0	0.0	1	14.3	7
山口	5	45.5	0	0.0	2	18.2	1	9.1	3	27.3	0	0.0	0	0.0	11
徳島	5	35.7	2	14.3	2	14.3	2	14.3	3	21.4	0	0.0	0	0.0	14
香川	7	38.9	3	16.7	2	11.1	2	11.1	4	22.2	0	0.0	0	0.0	18
愛媛	5	29.4	2	11.8	2	11.8	3	17.6	4	23.5	1	5.9	0	0.0	17
高知	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	60.0	2	40.0	0	0.0	5
福岡	14	33.3	8	19.0	4	9.5	7	16.7	8	19.0	1	2.4	0	0.0	42
佐賀	2	50.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	4
長崎	2	22.2	2	22.2	1	11.1	1	11.1	2	22.2	1	11.1	0	0.0	9
熊本	4	20.0	6	30.0	2	10.0	3	15.0	3	15.0	1	5.0	1	5.0	20
大宮	1	20.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	5
宮崎	6	42.9	2	14.3	2	14.3	0	0.0	4	28.6	0	0.0	0	0.0	14
鹿児島	5	35.7	3	21.4	3	21.4	1	7.1	2	14.3	0	0.0	0	0.0	14
沖縄	1	8.3	1	8.3	1	8.3	4	33.3	4	33.3	0	0.0	1	8.3	12
無回答	1	25.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	4
総計	276	28.9	166	17.4	96	10.0	131	13.7	255	26.7	15	1.6	17	1.8	956